

## 平成29年度 教育に関する事務の点検及び評価会議 次第

日時 平成30年2月8日(木) 午後1時30分～  
場所 国見町役場 大会議室

- 1、開 会
- 2、教育長あいさつ
- 3、協議
  - (1) 事務の説明
    - ・教育委員会重点施策等について
    - ・事務点検・評価表等について
  - (2) 意見交換
- 4、その他
- 6、閉 会

## 教育に関する事務の点検及び評価委員

(任期：平成29年4月1日～平成30年3月31日)

氏名	住所	役職等	備考
佐藤 清二	内谷字三ツ森58	文化団体連絡協議会役員	
吉田 輝雄	山崎字館東9-8	元教育次長	
村上みさ子	徳江字西7-1	元子育て支援課長	

## 事務局（国見町教育委員会）

氏名	職名
岡崎 忠昭	教育長
引地 由則	参事兼教育次長兼学校教育課長
中田 利枝	幼児教育課長
羽根 洋一	生涯学習課長
穴戸 正幸	指導主事
黒田 典子	主任主査兼学校教育係長
村上 正幸	主任主査兼給食センター所長
石澤 廣	課長補佐兼幼児教育係長
大勝 晴美	主任主査兼生涯学習係長
佐藤 孝法	主任主査兼文化スポーツ係長

## 国見町教育委員会

### 教育に関する事務の点検及び評価会議 資料

#### ■平成29年度 国見町教育委員会指導の重点

#### ■平成29年度 重点事業説明書

- 学校教育課
- 幼児教育課
- 生涯学習課



## 平成29年度 国見町教育委員会 指導の重点

### <基本理念>

豊かな自然や歴史・文化を基に、自立と共生のまちづくりを推進し、

豊かさと生きがいを楽しむ心身ともに健康な町民の育成

町は、「心をあわせ希望に満ちた豊かで生きがいのある国見町」を将来像に描く。教育に関わる「めざす将来の姿」は、次のように描かれる。

- 1 地域全体でのかかわりの中で、子どもたちが命を大切にし、思いやりの心、自立心、地域に対する知識と愛着、そして社会の一員としての自覚を持ち心身ともに健やかに育つ。
- 2 子どもたちが将来の目標を見据えながら、確かな学力と国際的な感覚を身に付け、一人一人の可能性を広げて、夢と希望が実現する社会になっている。
- 3 町の歴史や伝統文化が大切にされるとともに、子どもからお年寄りまで様々な文化活動、スポーツ活動などを行うことができる場が用意されており、さらに、支える文化が根付いている。

### <基本目標>

地域の資源（たから）を受け継ぎ、心豊かな人を育む「国見町の教育」の創造

町には、温かい町民性、地域の絆、自然環境や文化・伝統に恵まれている。この特性を生かしながら、保育所、幼稚園、小学校、中学校、地域が連携・協力し、町民が一体となって豊かな教育環境を形成し、人づくりを進めていきたい。

そして、町の子どもたちを、豊かな人間性、社会性を身に付け、社会に貢献しながら自立して人生を拓いていくための「確かな学力」と「健やかなからだ」を持つ「心豊かなたくましい人間」に育てていきたい。

### <基本方針>

#### I 自ら学び、心豊かでたくましく、郷土を愛する国見の子の育成

##### ◎ コミュニティ・スクールを基盤とした保幼小中一貫教育の推進

- (1) 保育所も含め、幼稚園、小学校、中学校が「目指す子どもの姿」を共有し、系統性・連続性をふまえた一貫性のある取り組みを行う。
- (2) 学校・園と家庭や地域が一体となった取り組みを進めるため、コミュニティ・スクールの運営の充実を図る。
- (3) 学校支援地域本部事業（学校支援ボランティア）の充実させ、学校力の向上と人と人とのつながりを深める。

#### 1 確かな学力を身に付けた子どもの育成（基礎の力と活用する力、国際的な感覚）

##### (1) 確かな学力の向上

###### ① 基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得

- 総合学力調査（町）や全国学力学習状況調査、福島県学力調査の結果から、自校の課題を明確にするとともに、学力向上グランドデザインの改善を図る。
- 少人数教育のよさを生かした個に応じたきめ細かな指導の充実を図る。
- 基礎・基本の定着を図る取り組みの充実を図る。

###### ② 思考力・判断力・表現力の育成

- 課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ授業（アクティブ・ラーニング）の充実を図る。

- 育てたい力を明確にした言語活動の充実を図る。特に「話す力」の育成に努める。
- 思考力・判断力・表現力を育む総合的な学習の時間の指導の工夫と充実を図る。

### ③ 教師の指導力の向上

- 現職教育を実効性あるものとし、学び合う学習コミュニティを創造する。
- 自己の課題と校内外の研修を関連させ、指導力・授業力の向上に努める。
- 子どもを理解し見取ることを重視し、学級づくりや集団づくりの指導力向上に努める。
- 幼稚園、小学校、中学校間での教員の交流、保育・授業研究等を通して、一貫性のある指導方法について連携を推進する。
- 各種研修会、先進校視察等を通して教員の資質の向上を図る。
- 「国見町教育研究会」の支援の充実を図る。

### ④ 学校図書館の整備と活用

- 調べ学習を支える資料の整備と学習指導の充実を図る。
- 読書の習慣化に向けた機会や場の設定、継続的な指導を行う。

## (2) 学びを支える基盤づくり

- 家庭や地域と連携し、「家読（うちどく）」の展開を図るとともに、読書指導の充実を図る。
- 家庭と連携して、発達段階に応じた学習規律や学習習慣の確立を図る。
- 家庭や地域と連携して、生活習慣の改善・確立を図る。

## (3) 国際理解教育・英語教育の充実

- 各学校・園の連携を図り、実態に応じて特色ある指導計画を作成する。
- 我が国の伝統と文化を尊重し、広い視野から国際理解を深め、国際社会に生きる日本人としての自覚を高める。
- 英語によるコミュニケーション能力の育成を目指し、子どもが主体的に学ぶことができる授業（活動）を展開する。
- 中学生の英語検定受験を奨励し、その学習を支援する。

## 2 豊かな人間性・社会性を身に付けた子どもの育成（自立と共生の心）

### (1) 心の基盤づくり

- 互いを尊重し合い、認め合う支持的風土に満ちた学級・集団づくりに努める。
- ルールやモラルを尊重する風土を醸成する。
- 教師と子ども、子ども同士の信頼関係を構築する。
- 家庭や地域と連携し、「あいさつ運動」の展開を図る。

### (2) 体験活動の充実

- 地域の大人や異年齢の子どもたちとの交流活動を推進する。
- 集団宿泊活動や職場体験活動、奉仕体験活動、自然体験活動、文化芸術体験活動の内容の充実を図る。
- 自己の生き方を考え、夢や希望の実現を目指すキャリア教育を推進する。
- 成功体験を積み重ね、成就感、自尊感情の高まりにつなげる。

### (3) 道徳教育の充実

- 自己の深い理解と他者を共感的に理解する心を育てる道徳教育の充実を図る。
- 自己の生き方を考える心に響く道徳の授業づくりに努める。

### (4) 特別活動の充実

- ねらいを明確にして、年間を見通した活動を推進する。
- 集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的・実践的な態度を育てる。
- 自己肯定感・自己有用感が高まるよう指導を工夫する。

### (5) 生徒指導の充実

- 校（園）内教育相談体制の一層の充実を図る。
- 子ども理解等実態把握と課題解決の方策を組織的に実践する。
- スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用の一層の充実を図る。
- 家庭や地域、関係機関と連携し、いじめ等問題行動の未然防止・早期発見・早期対応に努める。

## 3 健やかなからだをそなえた子どもの育成（健康・体力、安全・安心）

### (1) 体力・運動能力の向上

- 体力・運動能力調査の結果から自校の課題を明確にするとともに、体力向上策を推進する。
- 実質的な運動量を確保した体育の授業・保育を実践する。
- 運動・遊びの楽しさを味わい、意欲的に取り組む環境づくりに努める。
- 運動身体づくりプログラムを継続的に実践する。
- スポーツ少年団活動、中学校部活動等を支援する。
- 町小学校陸上大会を支援する。

### (2) 食育の推進

- 栄養士や食育推進コーディネーターを中心に、家庭や地域と連携し、食育を推進する。
- 学校給食の充実を図るとともに、地場産物の活用を推進する。
- 家庭や地域と連携し、「早寝・早起き・朝ごはん運動」の展開を図る。

### (3) 健康で安全な生活の実践

- 家庭と連携し、健康課題の解消に向けた取り組みの充実を図る。
- フッ化物洗口を実施し虫歯予防に努める。
- 子どもの心の成長・心のケアを支援の充実を図る。
- 家庭や地域と連携した交通安全指導、防犯指導の徹底及び学校安全体制の強化を図る。
- 主体的に判断し、行動する態度を育む防災教育・放射線教育の充実を図る。

### (4) 安全で安心できる環境づくり

- スクールバスの安全な運行を確保する。
- 施設設備の確実な点検と設備の充実を図る。
- 危険等が発生した際の対処方法を周知徹底させる。
- 学校事故防止の徹底を図る。
- 学校給食の安全管理を徹底する。

#### 4 地域から愛され、地域を愛する子どもの育成（郷土に対する知識と愛着）

##### （1）郷土学習「国見学」の推進

- 郷土の歴史や伝統・文化、産業などの学習の充実に努める。
- ふるさと国見に愛着を持ち、国見のよさを発信できる態度を育てる。
- 教職員の地域を知る場や機会の充実を図る。
- 教材としての「国見町歴史読本」の作成を進める。

##### （2）地域人材等の活用

- 教育活動に地域人材の積極的な活用を図る。
- 「学校支援地域本部」によるボランティアの積極的な活用を図る。
- 「福島大学人間発達文化学類との連携・協働に関する協定」によるボランティアの積極的な活用を図る。

##### （3）地域行事等への参加

- 地域行事等を生かした教育活動の展開を図る。
- 子どもたちの地域行事等への参加につながるような動機付けに努める。

#### 5 幼児教育の充実（他とよりよくかかわる）

##### （1）いきいき遊ぶ力の育成

- 「自ら楽しく遊ぶ」機会や環境の充実を図る。
- 言葉による伝え合う力を育成する指導の充実を図る。
- 思いや考えなどを表現する力を育成する指導の充実を図る。

##### （2）気づき思いやる力の育成

- 幼児同士、信頼感に満ちた温かい集団づくりに努める。
- 道徳性と規範意識を育てる指導の充実を図る。
- 人や自然とのかかわりを体験的に学ぶ機会や場の充実を図る。

##### （3）たくましく行動する力の育成

- 家庭と連携し、基本的な生活習慣の形成を図る。
- 家庭と連携し、運動的遊びづくりと運動の日常化を図る指導を工夫する。
- 家庭や地域と連携し、生活・交通・災害にかかる安全教育の徹底を図る。



## 6 特別支援教育の充実

### (1) 校（園）内支援体制の充実

- 特別支援教育コーディネーターを中心とした校（園）内委員会や研修会等の充実を図る。
- 教職員間での支援策の共有化と役割の明確化を図るとともに、幼稚園、小学校、中学校間の連携を推進する。

### (2) 一人一人のニーズに応じた指導の充実

- 子どもの特性や教育的ニーズに基づく指導のねらいと支援方針の明確化を図る。
- 「個別の教育支援計画」の作成・活用を推進するとともに、「個別の指導計画」に基にした指導・支援の充実を図る。
- ねらいを明確にした交流及び共同学習を組織的・計画的に推進する。

### (3) 家庭や地域及び関係機関との連携強化

- 保健福祉部局等との連携を推進するとともに、特別支援学校のセンター的機能の積極的な活用を図る。
- 特別支援教育について、家庭や地域への継続的な啓発に努める。

## 7 各種教育

### (1) 図書館教育の推進

- 学校（園）の実態に応じて、各教科や読書活動などとの関連を図った指導計画を作成する。
- 蔵書や資料等の充実を図り、学校図書館としての機能や役割の充実に努める。
- 地域ボランティアの活用を推進するとともに、町の図書室（観月台文化センター）との連携を推進する。

### (2) 情報教育の推進

- ICT指導員の活用も含め、校内指導体制の充実を図り、情報化に対応した教育を推進する。
- 学習活動においてコンピュータ等のICT機器の積極的な活用を図るとともに、インターネット等の適切な利用についての指導の充実を図る。
- 家庭と連携し、法令遵守、マナー・道徳性など、情報モラルに関する指導の充実を図る。

## Ⅱ 町民が自発的・主体的に楽しむ生涯学習や生涯スポーツの推進

### 1 生涯学習の推進

#### (1) 生涯学習の普及と啓発

- 生涯学習の啓発と自主的な学習活動の支援の充実を図る。
- ライフステージに応じた様々な学びができるよう各種講座・教室の充実を図る。
- 町広報やホームページを利用した情報提供の充実を図る。

#### (2) 青少年健全育成の推進

- 青少年育成町民会議を中心に、家庭、学校、地域、関係機関の連携・協力による町民総ぐるみ運動の展開を図る。

- 公民館事業として様々な体験活動の機会を提供する。
- スポーツ少年団活動及びボランティア活動等への参加を助長する。
- 青少年のスポーツ・文化活動における各種大会等への参加を奨励する。
- スポーツ少年団等の指導者養成のための研修機会を確保し、参加の援助を行う。

### (3) 社会教育・家庭教育の振興

- 幼児教育から高齢者教育にいたるまで公民館活動の充実を図る。
- 家庭教育に関する学習機会の充実に努め、家庭の教育力の向上を図る。
- 成人教育（女性・成人・高齢者）については、各学級を中心に主体的学習を図る。

## 2 生涯スポーツの推進

- 町民が気軽にスポーツに親しみ、健康で活力ある生涯スポーツの推進を図る。
- 体育協会やスポーツ少年団などスポーツ関係団体の育成・支援に努める。
- 各種スポーツ大会への積極的参加を助長する。

## 3 社会教育施設・社会体育施設の整備充実

### (1) 観月台文化センター図書室の充実

- 利用しやすい図書室の管理運営と計画的な図書整備を図る。
- 図書室だよりの発行など情報提供に努める。
- 子ども読書活動推進計画の推進を図る。

### (2) 社会教育施設・社会体育施設の整備と活用

- 観月台文化センターの維持管理と活用の推進を図る。
- 各地区中央集会施設の適切な維持管理に努める。
- 上野台運動公園をはじめとする社会体育施設の維持管理と整備活用を推進する。

## Ⅲ 豊かな芸術・文化の振興と歴史や文化財の保存・継承

### 1 芸術文化活動の推進

- 優れた芸術文化に触れる機会の拡充を図る。
- 芸術文化活動の奨励を図り、文化意識の高揚に努める。
- 文化団体等の活動支援に努める。

### 2 歴史や文化財の保護と活用

- 郷土の歴史や文化に対する意識を高め、郷土愛を育む。
- 文化財の保存管理及び調査研究に努める。
- 阿津賀志山防塁をはじめとする指定文化財の整備を図り、積極的な保存と活用を推進する。
- 「歴史まちづくり計画」等による整備と活用を推進する。
- 文化財収蔵及びガイダンス施設の整備により、文化財活動の拠点として活用を図る。
- 地域の伝統文化の保存継承を支援する。

#### IV 安全安心な学びの環境の整備

##### 1 安全で良好な学びの学校（幼稚園・保育所）環境の整備

###### (1) 安全で安心できる教育環境づくり

- スクールバスの安全運行を推進する。
- 教育施設の確実な定期点検を実施するとともに、設備の改善・充実を図る。
- 設備及び用具等については、使用前、使用中の点検を確実に実施し、不備があれば迅速かつ適切に対応する。
- 国見町復興計画、国見町除染計画に沿って、学校、社会教育施設、通学路等の除染を確実に進める。
- 放射性物質の測定等により、学校給食食材の安全確保に万全を期す。

###### (2) 学校事故防止等の徹底

###### ① 学校事故・教職員事故等の絶無

- 管理職の指導の下、学校や教職員の実態に応じた実効ある取り組みを行い、危機意識の継続・高揚を図る。
- 各種事故が発生した場合の速やかな第1報を徹底する。
- 地震発生及び各種警報発令時の対応について全教職員で共通理解を図る。

###### ② 教職員の不祥事防止の徹底

- 管理職が服務規律の保持について具体的に指導する機会を設ける。
- 実効ある校内服務倫理委員会の取り組み等を通して、不祥事防止を徹底する。
- 特に飲酒運転や体罰、セクハラ、わいせつ行為等の信用失墜行為の絶無を期す。

###### ③ 給食センターの安全管理の徹底

- 食中毒の防止や給食への異物混入防止のため、「学校給食の手引き」「学校給食衛生管理基準」に照らした安全管理を徹底する。

##### 2 地域ぐるみで安全・安心体制の推進

- 学校・家庭・地域が一体となって交通安全指導・防犯指導の徹底を図る。
- 地域や関係機関等と連携した安全教室等を実施するなど、地域や関係機関等との連携による学校安全体制の強化を図る。
- 家庭に危険等発生時対処要領の周知徹底を図るとともに、危険等発生時に十分な対応ができるよう連絡体制や救急体制を定期的に確認する。

##### 3 安全教育の推進

- 災害や防災について正しい知識を身に付け、災害発生時に自らの安全を確保したり自分の役割を自覚して行動したりする力を育成する。
- 放射線等の基礎的な性質についての理解を深め、心身ともに健康で安全な生活を送るために、自ら考え、判断し、行動する力を育成する。
- 道路交通法を理解させるとともに、危険予測学習や体験的な学習を通して、正しい自転車運転の指導を充実する。

# 平成29年度重点事業説明書

(学校教育課)

事業名	新規継続の別	補助単独の別	事業主体	事業費(千円)	事業の概要	備考(前年度事業費)
児童生徒就学援助事業	継続	一部補助	町	5,411	要保護、準要保護児童生徒への支援 特別支援教育就学児童生徒への支援(補助)	7,013
小中学校教材・備品購入事業	継続	一部補助	町	2,150	授業に必要な教材・図書等を購入 理科教育等設備の整備事業(補助)	2,250
学力向上対策事業	継続	一部補助	町	11,659	基礎学力向上推進事業 ※学力診断テスト 特別支援教育支援員(小4人中1人) 小学校英語講師の配置 体力テストの実施と対策 森林環境交付金事業(小学校)	10,353
英会話体験活動事業	継続	単独	町	805	英語学習に対する興味関心及びコミュニケーション能力を 高める 中学2年生:外国人講師による英会話体験教室 中学3年生:ブライツ111での英会話体験活動	794
学校安全対策の強化事業	継続	一部補助	町	29,790	カブパスの安全運行の推進 ・通学送迎委託 ・夏休みプール送迎	30,102
児童生徒健康管理事業	継続	一部補助	町	3,448	学校医及び歯科医、薬剤師による定期検診 保健指導及び相談(県) 保健管理諸検査の実施 スクールカウンセラーの設置(県委託)	3,494
イントラネット活用事業	継続	単独	町	7,164	小学校教師用デジタル教材(web配信) 電子黒板(13台)を活用し電子学習の充実 教育ネットワークの充実	6,778
奨学金貸付事業	継続	単独	町	2,847	修学資金(高校4人、大学6人) 入学支度金(高校1人、大学3人)	2,980
幼小中学校連携一貫教育推進事業	継続	単独	町	499	園児・児童・生徒の交流事業 教職員の先進校視察	499

学校教育係

# 平成 29 年 度 重 点 事 業 説 明 書

(学校教育課)

事業名	新規継続の別	補助単独の別	事業主体	事業費(千円)	事業の概要	備考(前年度事業費)
コミュニティ・スクール事業	継続	一部補助	町	300	幼小中連携し、地域とともにある学校づくりの推進 国庫補助事業教育支援体制整備事業費補助金「ミエティカ」委員会の開催」学校運営協議会講演会・フォーラムの開催、委員の研修視察	300
放課後の教育充実事業 (英検受験サポート事業)	継続	単独	町	110	土曜日等の教育を支援する事業 中学生の英検受験希望者のサポート学習会開催	115
いじめ問題対策事業	継続	単独	町	154	いじめ問題対策連絡協議会、いじめ問題専門委員会 いじめ問題調査委員会、いじめ問題の講演会の開催	182
学校教育施設整備事業	継続	単独	町	1,400	小中学校施設管理(工事及び修繕)	1,400
外国青年英語指導事業	継続	単独	町	5,384	ALTによる児童生徒の英語指導と国際交流の推進 総合学習による小学校、幼稚園にて国際交流 現ALT3年満了により8月より新ALT受入	5,256
学校司書配置事業	新規	単独	町	2,099	児童生徒の言語活動や探究学習、読書活動のため 学校図書館に従事する職員(学校司書)を学校に配置する。	0
小中学校学習支援事業 (福大連携・協働)	継続	単独	町	70	平成27年度福大人間発達文化学類と町教育委員会 が連携・協働に関する協定を締結したことか ら大学生による学習支援	70
学校給食施設管理運営事業	継続	一部補助	町	79,975	給食センター施設管理 学校給食運営 安全な食料確保(放射性物質測定委託)	79,744

学校教育係

給食センター

# 平成29年度重点事業説明書

(幼児教育課)

事業名	新規継続の別	補助単独の別	事業主体	事業費(千円)	事業の概要	備考(前年度事業費)
保育所運営事業	継続	単独一部補助	町	64,087	藤田保育所の運営 保育の充実、特別保育事業の実施	64,251
放課後児童健全育成事業 (放課後子どもクラブ)	継続	単独一部補助	町	24,526	放課後、保護者が就労等により家庭にいない小学校1年～6年生を対象に適切な遊びの場や生活の場を提供し、児童の健全育成と児童福祉の向上を図る	22,729
預かり保育事業	継続	単独一部補助	町	19,435	幼稚園児の降園後、保護者のいない家庭の園児に対して、預かり保育を実施し、子育て支援の充実を図る	18,530
幼稚園運営事業	継続	単独一部補助	町	31,150	くにみ幼稚園の運営 (年少・年中副担任配置、産休代替、特別支援員配置) 幼稚園就園奨励金の交付 通園補助事業	28,730
幼稚園英語活動事業	継続	単独	町	240	幼児期から英語に親しみ幼稚園教育から小学校教育へスムーズにつなげ、国際的感覚を持った子どもを育てるため、週1～2回の英語活動を取り入れる	144
子ども・子育て支援事業	継続一部新規	単独一部補助	町	2,587	子ども・子育て支援新制度支給認定事務等 子ども・子育て推進協議会の開催 子育て支援事業の周知 キッズフェスティバル事業 【新規事業】未就学児体力向上支援事業 就学前児を対象に専門家による遊びの支援を行う	3,198
屋内遊び場運営事業	継続	単独一部補助	町	11,664	東日本大震災後、安心して屋外で遊べない状況が続いていることから、屋内遊び場設置し、安心して伸び伸びと遊びストレスを解消し体力向上を図る 子どもの心身の健康と子育て支援の施設として定着	12,192
児童遊び場遊具維持管理事業	継続	単独	町	100	遊び場遊具の点検と修繕整備	100

幼 児 教 育 係

平成29年度重点事業説明書 (生涯学習課)

事業名	新規継続の別	補助単独の別	事業主体	事業費(千円)	事業の概要	備考(前年度事業費)
生涯学習推進事業	継続	単独	町	4,690	生涯学習環境の充実を図るため社会教育指導員の配置、職員研修等	4,556
成人式	継続	単独	町	457	新成人を祝福するとともに、成人としての自覚を促す式典、記念パーティーの開催	447
国見ジュニア応援団事業	継続	単独	町	1,200	ふくしま及びくみ復興大使として、子ども立場から復興PRや風評被害対策を推進し、関連ある市町との親善交流を図る。	0
公民館(生涯学習)事業	継続	単独	町	3,814	青少年、成人(女性、成人、阿津賀志)の各種教室などの公民館活動、各種生涯学習講座の開催	3,065
仮設住宅再編等に係る子供の学習支援コミュニティ復興支援事業(10/10) ①放課後児童事業	継続	補助	町	1,595	放課後子ども教室「国見っ子わんぱく広場」を開設し、コミュニティセンターを中心に地域人材による様々な体験活動や交流活動を実施	1,228
②学校支援地域本部事業	継続	補助	町	2,719	学校支援コーディネーターを配置し、学校の教育活動に地域人材の積極活用を推進	1,967
図書室管理運営事業	継続	単独	町	4,921	図書資料の充実、子ども読書活動推進計画の推進、図書専門指導員・図書ボランティアの配置、図書システム運用	4,766
復興・絆芸術文化振興事業	継続	補助	町	13,893	ホールを中心とした芸術文化事業の開催、復興・絆、町民を元気づける催しの展開	13,542
観月台文化センター維持管理事業	継続	単独	町	38,928	観月台文化センター施設の維持管理	34,609
地区中央集会所施設維持管理事業	継続	単独	町	5,496	森江野町民センター(体育館を除く)、東部高齢者等活性化センター(同)、大木戸ふれあいセンター、小坂農村総合管理センターの維持管理	5,597
スポーツ振興事業(スポーツ大会等の開催) 社会体育団体の育成	継続	単独	町	4,092	スポーツ振興に向けての、各種大会やスポーツ教室の開催、社会体育団体の育成	4,414
社会体育施設維持管理事業	継続	単独	町	22,958	上野台体育館、町民プール、テニスコート、グリーンアリーナ923、総合運動場、文化センター体育館、柏葉体育館等、体育施設の維持管理	22,394

生涯学習係

文化スポーツ係

## 教育に関する事務の点検及び評価会議 資料

■学校教育課 事務点検・評価表、評価点検シート

■幼児教育課 事務点検・評価表、評価点検シート

■生涯学習課 事務点検・評価表



点検・評価シート

番 号	1	重点施策名	学校教育の充実	
事業名	コミュニティ・スクール事業 幼小中一貫教育事業		担当課	学校教育課
事業の目的	地域とともにある学校づくり、幼小中一貫教育の推進			
本年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ コミュニティ・スクールの推進</li> <li>○ 幼小中の交流及び一貫した具体的な取り組みの推進</li> </ul>			
取組みの方針	○ 学校・家庭・地域の連携強化、幼小中の連携強化			
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ コミュニティ・スクールの推進</li> <li>○ 学校支援地域本部事業の充実</li> <li>○ 幼小中一貫教育事業の充実</li> <li>○ いじめ問題対策連絡協議会・いじめ問題専門委員会</li> </ul>			
主な実践事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国見学園コミュニティ・スクール委員会</li> <li>○ 国見町教育フォーラム2017</li> <li>○ 学校支援ボランティア活動（地域コーディネーター）</li> <li>○ 国見学園アクティブプラン策定</li> <li>○ 幼小中一貫教育事業「くにみっ子まつり」</li> <li>○ いじめ問題対策連絡協議会・いじめ問題専門委員会</li> </ul>			
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国見学園アクティブプラン（つらぬく柱の具体化） ※別紙</li> <li>○ 熟議の実践化（中学校部活再編、家読推進）</li> <li>○ 「国見町教育フォーラム2017」 ※別紙 少年仲間づくり受講生が発表、CSマイスター講演</li> <li>○ コミュニティ・スクールの研修会参加（東京）</li> <li>○ 「くにみっ子まつり」実施</li> <li>○ 家読の取り組み推進（毎月 4～6のつく日）</li> <li>○ スマホ利用の決まり策定 等</li> </ul>			
事業の成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各種事業等の実施により、学校・家庭・地域が一体となった取り組み及び、保幼小中が連携した取り組みが推進された。</li> <li>○ 国見学園をつらぬく柱の実践内容を示した（アクティブプラン）により保幼小中一貫教育の充実が図られた。 今後も一層の継続と推進の図りたい。</li> </ul>			

点検・評価シート

番 号	2	重点施策名	学校教育の充実	
事 業 名	学力向上対策事業等		担当課	学校教育課
事業の目的	学力向上、運動能力・体力向上			
本年度の課題	<input type="checkbox"/> 確かな学力の向上 <input type="checkbox"/> 体力・運動能力の向上、肥満傾向解消			
取組みの方針	<input type="checkbox"/> きめ細やかな指導の充実、学力・体力向上のための支援充実			
事業の内容	<input type="checkbox"/> 総合学力調査、新体力テスト等の実施 <input type="checkbox"/> 教員の指導力向上 <input type="checkbox"/> 特別支援教育支援員、ALT（中）、英語特別講師（小） ICTサポーターの配置 <input type="checkbox"/> 英語教育充実、児童健康体力づくり <input type="checkbox"/> 放課後等の学習支援 等			
主な実践事項	<input type="checkbox"/> 各種学力検査・調査、体力・運動能力調査の実施 <input type="checkbox"/> 教員の研修の充実、国見町教育研究会の支援（講師招聘等） <input type="checkbox"/> 特別支援教育支援員の研修の充実 <input type="checkbox"/> 中学校の英語教育プログラムの充実 <input type="checkbox"/> 夏休み学習会、冬休み学習会、英検対策講座、受験対策講座等実施			
達成状況	<input type="checkbox"/> 全国学力・学習状況調査の結果分析と改善策の策定 <input type="checkbox"/> 福島県学力調査の結果分析と改善策の策定 <input type="checkbox"/> 小・中学校授業研究会の開催 <input type="checkbox"/> 先進校の視察研修（謹教小学校、新地町立小中学校） <input type="checkbox"/> 特別支援教育支援員研修会の開催 <input type="checkbox"/> 英会話集中講座（中2）、プリテッシュヒルズ体験研修（中3） <input type="checkbox"/> 放課後等の学習支援			
事業の成果と課題	<input type="checkbox"/> 学力向上については、11月に行った県学力調査の結果から、特に国語・英語について大きな成果が認められた。今後も研修の充実を図り、教員の指導力向上・授業の充実に努めたい。 <input type="checkbox"/> 体力・運動能力向上については、一定の改善が図られた。今後も体育科を中心とした授業の充実を図りたい。肥満傾向は全国や県と比較すると高い傾向にあるので今後解消のため指導の充実に努めたい。			

平成29年度 事業点検・評価表

(学校教育課)

	実施状況	総合点検・評価
1 児童生徒就学援助	<p>■要保護・準要保護児童生徒就学援助</p> <p>①経済的理由により就学困難な児童生徒へ町要綱に基づき支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象：小学校29名、中学校20名</li> </ul> <p>②東日本大震災で避難区域からの児童生徒へ支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県補助「被災児童生徒等支援事業補助金」10/10</li> <li>・対象：小学校3名、中学校1名</li> </ul> <p>■特別支援教育就学奨励</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国補助「特別支援教育就学奨励費補助金」1/2</li> </ul> <p>①障害の程度に該当する児童生徒の保護者の経済的な負担を軽減するため支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象：小学校13名、中学校1名</li> </ul>	<p>・平成25年度「子どもの貧困対策法」制定より、児童生徒が等しく教育を受けられるよう低所得層の子どもの世帯を把握して、学校や地区民生委員、スクールソーシャルワーカー、関係機関などと連携を図り取り組んでいる。</p>
2 小中学校教材備品の充実	<p>■授業に必要な教材図書や特に理科教材 備品購入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国補助「理科教育設備整備費等補助金」1/2</li> </ul> <p>■中学校吹奏楽部の楽器整備</p>	<p>・理科及び算数・数学教育設備整備補助金を活用して整備することができた。</p> <p>・楽器が古くなっているため年次計画により整備する必要がある。</p>
3 学力向上対策	<p>■基礎学力向上推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育支援員の配置 国見小学校4名、県北中学校1名</li> <li>・特別支援教育支援員研修会 日程：7月19日、12月21日 講師：県北教育事務所 指導主事</li> <li>・特別支援学級数、児童生徒数 国見小2学級 知的障がい学級10名 情緒障がい学級4名 県北中2学級 知的障がい学級2名 情緒障がい学級1名</li> </ul> <p>■小学校に英語講師を配置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・非常勤講師1名</li> </ul> <p>■英検対策講座については、平成29年度生涯学習課の事業として実施。</p> <p>■総合学力調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月実施</li> <li>・小学2, 3年 国語、算数、意識</li> <li>小学4, 5年 国語、算数、理科、意識</li> <li>小学6年 国語、算数、理科、社会、意識</li> <li>中学1年 国語、数学、社会、理科、意識</li> <li>中学2, 3年 // 英語、意識</li> </ul> <p>■体力テスト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校高学年、中学校の全学年</li> </ul> <p>■森林環境教育事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県補助「森林環境交付金」10/10</li> <li>小学1, 2年生：みちのく杜の湖畔公園 (5月)</li> <li>// 1年生：霊山子どもの村 (10月)</li> <li>// 3年生：県民の森 (5月)</li> <li>// 4年生：野鳥の森自然観察センター (4月)</li> <li>// 4年生：摺上川ダム (9月)</li> </ul>	<p>・特別な配慮を要する児童生徒が増えており、小・中学校ともに知的障害学級と情緒学級を設けている。</p> <p>・小学校支援員は、担当児童を分担し、普通学級や特別支援学級に入り、担任と連携を図りながら発達障がいを含む様々な障がいのある児童に対し学校生活上の介助や学習活動の支援を行なっている。</p> <p>・支援員研修は、年2回実施し今年度は、幼稚園の支援員と児童クラブの指導者も加わり、支援員の成果や課題を共有し講師より助言を受けた。広い視野で情報交換でき充実した学習習慣、生活習慣の定着と基礎学力の向上を図ることができた。</p> <p>・小学校に英語講師を配置し、全学年をとおして英語教育の充実を図っている。</p> <p>・学力調査は、学力を知識・理解、思考・判断、技能・表現の3つの観点から総合的に測定した。また、意識調査を含めた結果を分析し課題の共有化を図り、授業改善や個別指導に生かすことができた。</p> <p>・体力テストを実施することにより体力向上への取組みが強化された。</p> <p>・森林を散策し植物、野鳥などの自然に親しむことで自然のよさとマナーに気づくことができた。</p> <p>・校外での集団行動を通じて、自覚ときまわりを守る意識を育てることができた。</p>

	実施状況	総合点検・評価
	<p>■幼小中学校一貫教育事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内の幼稚園、小学校、中学校を一つの集合体とみなし「国見の子は一つ」という信頼関係、共同体意識を育てる。</li> <li>・幼小中交流事業「くにみっ子まつり」</li> </ul> <p>テーマ「手をとり合って、支え合うみんなの夢と国見の夢」</p> <p>期日：11月1日（水） 場所：国見小学校 体育館 内容：国見音頭の練習・発表、ステージ発表</p> <p>■教職員E L E C外国語活動研修会 小学校教諭3名 期日：8月19日（土） 場所：東京都</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼小中一貫教育は、学校運営協議会（CS）の中で統一されたテーマ「読書、地域学、英語」を段階的、発展的、系統的に繋げていけるよう教職員が意識を持ち指導していく。</li> <li>・幼稚園児（5歳児）、小学校児童、中学校生徒の交流事業は、4年目の開催。国見音頭では、縦割り班に分かれ中学生がリーダーシップをとり幼児をサポートしながら飾りをつくり、更生保護女性部のみなさん等と一緒に踊ったステージ発表は公開とし保護者も熱心に見入っており、充実した内容となった。</li> <li>・教員の外国語研修会参加は、小学校で英語の授業が開始されることに対して、教員の総合理解を図るため、今後も研修会等への参加を促したい。</li> </ul>
4 英会話体験活動	<p>■英会話研修事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語学習に対する興味関心とコミュニケーション能力を高める</li> </ul> <p>①外国人講師による英会話体験教室 期日：11月15日（水） 講師：外国人ALT6名（内1名は国見町のALT） 対象：中学2年生85名 内容：授業時間（30分×3コマ）</p> <p>②プリティッシュヒルズ英会話体験活動 期日：9月7日（木） 対象：中学3年生82名 内容：英会話レッスン（90分×2レッスン）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語を母国語とするALTと英語のみの授業は緊張しながらも英会話本来の楽しさを実感し、事後の英語の授業への学習意欲が向上した。</li> <li>・プリティッシュヒルズ英会話体験活動では、生徒の実態に即したプログラムを選んで受講でき、英語の苦手な生徒も抵抗なく英語活動に取り組むことができた。最初の講座はゲーム的活動で英語使用の機会を増やすことができた。次の講座では文化や習慣の違いに気づき、英語を使ったコミュニケーションをとることができた。</li> </ul>
5 外国青年英語指導事業	<p>■英語指導助手（ALT）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業は、平成元年より取り組んでおり、昨年8月に17人目の指導助手をニュージーランドより迎えた。</li> <li>・中学校での英語授業の補助、英語弁論大会の指導等も行っている。</li> <li>・幼稚園に12回訪れて園児は、楽しく英語にふれることができた。</li> <li>・小学校での英会話補助や公民館事業での講師、町行事やイベントなどに積極的に参加して町民との交流を深めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際化の社会にあって、外国人との実践的なコミュニケーション能力を高めるとともに、児童生徒の異文化への理解を深めることは、年々重要になってきている。</li> <li>・ALTの活動として、外国の文化や行事を英語で校内で紹介しており、生徒が興味を持つような飾り付けの工夫で掲示されて、学校や生徒からの指導助手の評価は高い。</li> </ul>
6 ICT教育事業 (情報通信技術を使った教育)	<p>■教師用デジタル指導書導入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校指導用教材（デジタル教科書指導者）Web配信版 算数 3～6年生 理科 4～6年生 社会5～6年生</li> <li>・中学校指導用教材デジタル教科書(昨年度購入) 教科：数学 ※全学年</li> <li>・中学校PC教室賃貸借契約更新で、大型モニター3台導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネット経由で東京書籍のサーバーから必要なコンテンツが直接配信され、例えば社会科では歴史にまつわる資料や動画を取り入れた授業により児童の興味や理解を深めることができた。</li> </ul>
7 健康身体づくり事業	<p>■東北中第1学年健康教室「生命誕生」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思春期の不安や悩みを乗り越え命の尊さを学ぶ</li> </ul> <p>期日：1月24日（水） 講師：助産師 庵原順子氏 対象：中学1年生 内容：授業参観にて、生命誕生に関わりを持つ助産師の講話。</p> <p>■屋外運動場遊具の活用（国見小）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JRマラソン 週3回2校時目の休み時間に全校生が音楽に合わせ、5分間マラソンを行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東北中健康教室は、1年生一斉指導とし、保護者の協力による家族からのメッセージを受けて、かけがえのない存在としての命の尊さを感じ自他の命を大切にする気持ちを深めることができる。</li> <li>・25年度に小学校校庭の環境整備として大型遊具や鉄棒などを設置し、種目ごとに目標値（看板）を設置し積極的な活用に取り組んでいた。</li> </ul>

	実施状況	総合点検・評価
8 コミュニティ・スクール事業	<p>コミュニティ・スクール事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国補助「教育支援体制整備事業費補助金」定額</li> <li>■コミュニティ・スクール委員会 (委員20名 年6回開催) 【第1回】5月25日(木) 会場:文化センター ※任命書交付 【第2回】7月11日(火) 会場:国見小学校 【第3回】9月20日(水) 会場:県北中学校 【第4回】12月14日(水) 会場:くにみ幼稚園 【第5回】2月1日(木) 会場:役場 【第6回】2月27日(火) 会場:文化センター※予定</li> <li>■国見町教育フォーラム2017の開催 期日:11月25日(土) 観月台文化センター 内容:ワークショップ発表「道の駅くにみを もっとステキに」少年仲間づくり教室 児童(4~6年生) 文科省CSマイスター講演会 「地域にねざしたコミュニティ・スクール」 講師 四柳千夏子 (みだかスクール・コミュニティ・サポート ネット代表)</li> <li>■郡山市教育委員会訪問受入 期日:7月11日(火) 会場:国見小学校 内容:コミスク実施を検討している町の視察受入</li> </ul>	<p>総合点検・評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ・スクールを基盤とした幼小中一貫教育の推進を目指し平成26年度より国見学園コミスク委員会を設置した。「コミュニティ・スクールだより」発行や教育ポータルサイトで国見学園カレンダーを掲載して事業の啓発に努めている。国見学園アクティブプランにより保幼小中一貫教育の具体的実践事項が明示されている。</li> <li>・コミスク委員には、学校運営協議会委員、地域学校協働本部事業に係る推進委員も兼ねる任命書を交付した。今年度は委員より学校支援事業の評価・検証委員会委員を選出した。</li> <li>・国見町教育フォーラム2017では、保護者や学校関係者の約100名の参加のもと、国見小学校と桜の聖母短期大学「福島学」と企画情報課が連携し、少年仲間づくり教室児童が、国見町の未来を考えたワークショップを発表した。また、講演会においてコミュニティ・スクールの趣旨を周知することができた。</li> <li>・認知度の点ではまだ不十分である。地域には根ざしてきているが、保護者や地域に更なる周知が必要である。</li> </ul>
9 いじめ問題対策事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■いじめ問題対策連絡協議会 内容:協議、意見交換 【第1回】6月1日(木) 【第2回】12月15日(金) 【第3回】2月22日(木) ※予定</li> <li>■いじめ問題専門委員会 内容:協議、意見交換 【第1回】6月3日(金) 【第2回】12月15日(金) 【第3回】2月23日(金) ※予定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町いじめ防止基本方針(平成26年9月策定)、町子どものいじめ防止条例(平成28年4月1日施行)が制定され、町全体の取り組みとした。協議会では、小中学校のいじめ問題の対応について、保護者の代表や各団体などの意見交換を行うことができた。</li> <li>・専門委員会では、連絡協議会での要望や事案などから専門委員の意見や全国の取り組みを例に話し合われた。</li> <li>・12月15日は、合同会議の形で開催し、グループごとにいじめ問題解決に向けた協議を行い専門委員より指導助言をいただいた</li> </ul>
10 児童生徒健康管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>■学校健診 ・学校保健法に基づき、学校医、歯科医、薬剤師による定期検診を実施 ・内科(眼科含む)、歯科 4月~5月 ・就学時健診 10月</li> <li>■健康管理諸検査 【小学校】 尿検査:全児童、心電図:1年生 【中学校】 尿・貧血検査:全生徒 心電図:1年生、陸上部員 【幼稚園】 尿検査</li> <li>■フッ素洗口の導入 小学生の希望者を対象昨年2月から週1回実施。</li> <li>■インフルエンザの感染防止対策 うがいの励行、手指消毒の徹底</li> <li>■放射線対策事業 ・放射線個人積算線量測定(ガラスバッジ)、ホールボディカウンターによる内部被ばく検査、定期的な放射線量の測定。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校保健安全法に基づき、学校医、歯科医、薬剤師による定期検診</li> <li>・健康管理検査を基に保健指導及び相談の実施した。</li> <li>・保健福祉課が主体となり集団フッ素洗口を導入して、児童の虫歯の減少を目指す。</li> <li>・インフルエンザ感染防止に日頃より取り組んでいる。現在は、保育所から中学校まで数名の欠席者はいるが増加は見られないので引き続き感染予防に努めたい。</li> <li>・放射線対策事業では、関係課や小中学校と連携しながら児童生徒や保護者に対し、放射線の正しい知識を提供するとともに長期的な健康管理を支援していく。</li> <li>・放射線教育は、児童生徒に対して段階的、系統的な指導をしていく。</li> </ul>

	実施状況	総合点検・評価
	<p>■スクールカウンセラー配置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県緊急スクールカウンセラー等派遣事業</li> <li>・東日本大震災による児童生徒の心のケアと教育相談</li> <li>・県北中、国見小 各1名配置</li> </ul> <p>■スクールソーシャルワーカー配置 10/10</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県委託「スクールソーシャルワーカー緊急派遣事業」</li> <li>・児童生徒の抱える様々な問題を解決するため、環境に働きかけ関係機関との連絡調整を行う。</li> <li>・1名配置</li> </ul>	<p>・スクールカウンセラーは各校に1名配置しており、保護者や児童からの信頼も厚く、相談内容に依りて的確なアドバイスで学校と家庭をつなぎ有効に機能している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉など専門的な技術と知識を有するスクールソーシャルワーカーを小学校と中学校に派遣して、問題を抱える児童生徒の家庭訪問、個人面談などを行い、不登校の改善など成果をあげている。</li> <li>・両者とも保護者、教員、関係団体の連携をとりながら児童生徒が安心して学校生活を送れるよう支援しており、役割は重要である。</li> </ul>
11 学校安全対策の強化	<p>■送迎委託業務</p> <p>①スクールバス運行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登下校の安全確保のため遠距離通学（藤田地区以外）の児童132名（全校生391名）が利用する。</li> <li>※6コース</li> </ul> <p>②夏休みプール送迎</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の夏季休業中に学校プールにおいて水泳指導を受ける遠距離通学（藤田地区以外）の児童が利用する。利用者のべ111名。6日間（うち3、5日は悪天候により中止）</li> </ul> <p>■スクールバス地区懇談会</p> <p>期日11月28日</p> <p>内容：児童数の減少、体力低下などの課題を把握。</p> <p>■学校連絡網サービス（一斉メール）※無料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の安全確保のため学校からの緊急連絡として迅速に登録者（保護者）に情報提供を行う。</li> <li>・登録率：小学校380人（96%） 中学校231人（95%）</li> </ul>	<p>・スクールバス運行は、平成24年4月小学校統合から6年が経過し安全運行の充実を図っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みプール送迎において、遠距離通学児童も水泳指導を受けることができた。</li> <li>・スクールバス地区懇談会も開催され、現状について話し合いがされた。</li> </ul> <p>・緊急時の迅速な対応に努めるため小学校、中学校で利用。</p>
12 奨学金貸付	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済的な理由で高校、高等専門学校、大学に就学することが困難な国見町奨学生推薦基準を満たす学生に奨学金、入学支度金を無利子で貸付する。</li> </ul> <p>■国見町奨学資金貸付審査会 委員6名</p> <p>期日：2月15日 ※予定</p> <p>■29年度貸付状況</p> <p>①修学資金 10名（大学6名、高校4名）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貸与金額 高校10,000円以内/月 高専15,000円以内/月 大学20,000円以内/月</li> </ul> <p>②入学支度資金 2名（大学1名、高校1名）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貸与金額 高校15万円以内 大学25万円以内</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は新規4名が利用した。就学奨励の意味からも、継続実施が必要である。</li> <li>・奨学金の貸付は、町奨学基金と奨学資金返還金が資金となる。</li> <li>・修学資金は、卒業後、猶予期間6ヶ月ののち10年以内に返還することになるが、少数に遅延がみられることがある。</li> </ul>
13 学校教育施設整備	<p>【小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■プールライン工事</li> <li>■自動火災報知設備工事</li> </ul> <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■男子トイレ改修工事（和式→洋式）</li> <li>■教室扉修繕（3月予定）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国見小学校校舎は、昭和56年度建築のため統合に合わせて大規模な改修工事を実施しているが、設備等に劣化がみられ計画的な修繕が必要である。</li> <li>・自動火災報知機が古くなり、更新を行った。</li> <li>・県北中学校校舎は、昭和61年度建築で、校舎や設備が老朽しており、生徒が安心安全に学校生活を送れるよう施設整備に努めた。</li> <li>・中学校の行事など学校生活に配慮し、音が出る工事は休日や放課後に実施した。</li> </ul>

点検・評価シート

番 号	1	重点施策名	子育て支援の充実											
事 業 名	未就学児体力向上事業		担当課	幼児教育課										
事業の目的	東日本大震災の影響やライフスタイルの多様化により、子どもの体力・運動能力の低下が見られている。この課題解決のため、専門家に未就学児の体力調査やアンケート調査による実態と課題の把握及び未就学児に適した生活習慣や効果的な運動や遊びの指導等を依頼し、未就学児の体力づくりや生活のリズムを整えることができるよう保護者と一緒に取り組む													
本年度の課題	町内の4・5歳児を対象とした運動・遊びの指導と年2回の体力測定、保護者を対象とした生活等に関するアンケートを行い、体力測定結果と生活リズムが子どもの体づくりに与える影響を分析・考察し、子どもの健全育成へとつなげる													
取組みの方針	平成29年度福島県被災者支援総合交付金のうち、被災した子どもの健康・生活対策等総合支援事業補助金【補助率10/10】を利用した子育てイベント事業を活用													
事業の内容	<p>名称 未就学児体力向上事業</p> <p>期間 平成29年5月～平成30年3月</p> <p>場所 森江野町民センター第2体育館、くのみ幼稚園</p> <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体力測定(6月・11月 年2回実施)</li> <li>・専門家による運動・遊びの指導(5・7・9・10・12・1・2月の計7回)</li> <li>・保護者を対象とした生活習慣と食事に関するアンケート(調査期間 6月～7月)</li> </ul> <p>対象 国見町在住の4・5歳児とその保護者</p>													
主な実践事項	<p>体力測定種目</p> <p>①25m走 ②立ち幅跳び ③ボール投げ ④両足連続跳び越し</p> <p>⑤体支持持続時間測定 ⑥捕球</p> <p>運動教室実践内容</p> <p>①リズム体操</p> <p>②ポーズ遊び「バランス系」「筋力系」「コーディネーション系」</p> <p>③運動遊び「オクトパス」</p> <p>④ポーズ遊び「バランス系」「筋力系」「コーディネーション系」</p> <p>⑤マットを使用した遊び「連続ジャンプ」「一個飛ばしジャンプ」「シグザグジャンプ」「ドンじゃんけん」「島鬼」</p> <p>⑥投げ動作「ライオンの的あて」「助走からの投げ動作」「カバの的あて」「ゴリラの的あて」</p> <p>⑦キャッチング「ビニールボール(高所からの落下)」「風船(動きに合わせて移動しながらのキャッチ)」「ドッジボール(速いスピードのキャッチ)」「バレーボール」</p>													
達成状況	<p>参加者数(延人数)</p> <table border="0"> <tr> <td>体力測定</td> <td>5歳児</td> <td>71名</td> <td>4歳児</td> <td>102名</td> </tr> <tr> <td>運動教室</td> <td>5歳児</td> <td>142名</td> <td>4歳児</td> <td>204名</td> </tr> </table> <p>アンケート回収率 90.3%</p>				体力測定	5歳児	71名	4歳児	102名	運動教室	5歳児	142名	4歳児	204名
体力測定	5歳児	71名	4歳児	102名										
運動教室	5歳児	142名	4歳児	204名										
事業の成果と課題	<p>体力測定結果とアンケート結果から、運動(遊び)の大切さと生活リズムが子どもの発育に与える影響を示すことで、保護者が幼少期における適度な運動・適度な睡眠リズム・適切な食生活を実生活の中で認識できるかが課題である。</p>													

平成29年度 事業点検・評価表

(幼児教育課)

事業名	実施状況	総合点検・評価
1.放課後児童健全育成事業	<p>放課後、保護者のいない家庭の国見小学校の児童を対象とし、国見子どもクラブで適切な遊びの場や生活の場を提供し、健全育成と児童福祉を図る。</p> <p>○利用人数(1月22日現在)</p> <p>1年生 26人 2年生 30人 3年生 30人 4年生 17人 5年生 12人 6年生 6人 合計 121人</p> <p>○開設 平日：下校時～19:00 土曜日：7:30～18:30 長期休業：7:30～19:00</p> <p>○年間 292日開設 (土曜、長期休業含)</p> <p>○指導員5名、指導補助員3名 補助員10名(内学生4名) 計18名</p>	<p>指導員の支援により、毎日の学習や生活習慣が定着している。</p> <p>1～6年生までの異学年集団を意識し、低学年クラスに高学年の児童を配置して、年少者への優しさや年長者へのあこがれを発揮しながら活動することができた。</p> <p>クラブでの児童の様子を掲載したお便り「わくわく」を指導員が発行し、保護者へお知らせしている。</p> <p>アンケート調査等の意見を踏まえ、活動内容を工夫し、生物の飼育や、季節の行事などを通して、放課後の生活がより充実したものとなるよう取り組んでいる。</p> <p>学校支援ボランティアによるサツマイモ栽培や毎月「読み聞かせみみずく」の支援により、活動を通じて地域交流を図ることが出来た。</p>
2.児童遊び場遊具維持管理事業	<p>各地区の集会所や公園に設置してある遊具点検を随時行い、安心安全に使用できるよう修繕を図る。</p> <p>使用頻度、危険度、耐用年数等から判断し、修繕を図る。</p> <p>○遊具設置場所</p> <p>藤田地区 9か所 小坂地区 4か所 森江野地区 6か所 大木戸地区 4か所 大枝地区 2か所 合計 25か所</p>	<p>震災後、除染は終了したが少子化の影響もあり、各地区の遊具は使用頻度が低く、遊具は老朽化が進み、破損や劣化がみられ修理が必要な状況となっている。</p> <p>遊具の点検を行い、危険な遊具については、優先順位の高いものから、順次、修繕を行っている。今年度は、鶴町金比羅神社境内(鶴町集会所)ブランコの修繕を行った。</p>
3.子ども・子育て支援推進事業	<p>国見町子ども子育て支援事業計画に基づき、子育て支援事業の推進を図る。</p> <p>○計画期間 平成27～31年度</p> <p>○平成29年度子ども子育て推進協議会の開催 第1回 10/22 開催 第2回 2/ 5 開催予定</p> <p>○国見町子ども子育て支援事業計画中間見直し</p>	<p>子ども子育て推進協議会において、今年度の子ども子育て支援事業の取り組み状況、次年度の各施設の申し込み状況について、委員の意見を伺い、計画の事業推進に反映している。</p> <p>委員による施設の視察を行い、より充実した子育て支援事業となるよう取り組んでいる。</p>
4.屋内遊び場運営事業	<p>震災後、屋外で安心して遊べない状況が続いていることから、屋内遊び場で子ども達が安心してのびのびと遊ぶことにより、ストレスの解消、体力向上を図る。</p> <p>○名称 くにみもたん広場</p> <p>○開設 10:30～12:00 13:00～14:30 15:00～16:30(入替制) 毎週水曜日定休日</p> <p>○安全管理指導員1名、指導補助員1名、補助員4名</p> <p>○1月22日現在の利用者数 144, 504人</p>	<p>5月にオープンした道の駅の影響により、特に宮城県からの利用者が増加している。また、保育所などの児童施設の団体利用も多くなってきている。今後も道の駅「木育広場」と連携を取り、屋内遊び場の充実を図っていく。</p> <p>施設内では、指導員が工夫をこらし、季節に応じた壁面や手作り遊具等、子どもたちの遊びを充実させている。</p> <p>今年度は、ハロウィン、クリスマス会などのイベントを開催し、多くの子どもたちに楽しい時間を提供した。なお、3～4か月後には、延べ利用者15万人を達成する見込みである。</p> <p>今後も、遊具の維持管理、安全管理、指導員の向上を図っていく。</p>
5.乳幼児育成事業	<p>町の乳幼児の育成支援に関する条例に基づき、町内において3人以上の乳幼児を扶養する保護者に対し幼稚園・保育所等の経済的負担の軽減を図る。</p> <p>○平成29年度申請者0名</p>	<p>多子世帯に対し、保育所、幼稚園保育料、預かり保育料を減免している。</p> <p>国基準に該当しない部分(預かり保育)の保護者の経済的負担を軽減できるため、今後も支援の継続が必要である。</p>
6.未就学児体力向上事業	<p>点検・評価シート</p>	<p>点検・評価シート</p>



事業名	実施状況	総合点検・評価
児童健全育成事業	<p>7.キッズフェスティバル事業</p> <p>震災の影響により、遊びや運動の機会が減少している児童のために子育てイベントを開催し、児童の健全な育成を図ることを目的とする</p> <p>開催日：平成29年7月2日(日)</p> <p>内容：乳幼児向けのクラシックコンサート 手作りおもちゃコーナー バルーンアート体験</p>	<p>町内はもとより、福島市内などからの来場者もあった。コンサート以外に手作りおもちゃやバルーンアートなどのアトラクションを設けたことが好評だった。</p> <p>アンケートでは、乳幼児を連れていけるコンサートが少なく、次年度も継続してほしいという要望も寄せられている。</p>
	<p>8.常設保育所運営事業</p> <p>藤田保育所運営</p> <p>○定員 72人 (1月22日現在)</p> <p>0歳児 15人 1歳児 34人 2歳児 23人 計72人</p> <p>○開設 月～土曜日 (祝祭日、年末年始を除く)</p> <p>○開設時間 午前7時30分～午後6時30分</p>	<p>0歳～2歳児までの受入れとなり、現在のところ定員72名の利用者。待機者は1名(育児休業中の者)。</p> <p>月齢によるクラス替えを行い、定員を超えて受け入れ、待機児童の緩和を図り、円滑な保育の運営を実施しているが、更なる待機児童解消のために、保育士の配置が恒常的な課題となっている。</p> <p>日常の保育では、国見学園の3つの柱9つの項目へつながらるものを意識して、取り組んでいる。(家読、読み聞かせ、英語の歌、地域との交流)</p>
幼児教育	<p>9.特別保育事業</p> <p>特別保育事業</p> <p>(1)延長保育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者のニーズに対応した保育</li> <li>・午前7時～午前7時30分</li> <li>・午後6時30分～午後7時30分</li> </ul> <p>(2)一時預かり(定員5名程度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の多様な保育需要に応えるための保育(仕事、病気や冠婚葬祭、育児疲れなど)</li> </ul> <p>(3)国見町子育て支援センター</p> <p>藤田保育所：・子育てひろば・ニコニコ相談会・イキイキ子育てクラブ こども木育広場つながる～む：遊び場の提供・育児相談・子育てクラブ・世代交流</p>	<p>保護者のニーズの多様化により、延長保育の利用者が増えている。</p> <p>一時預かりは、各月ばらつきがあるものの、待機児童や育児の負担軽減、通院等による多くの利用がある。</p> <p>子育て支援センターでは、育児相談をはじめ、子育てサークルなど親たちが積極的に参加し、情報交換や親子の交流等を行っている。</p> <p>今年度5月より、道の駅構内に「子ども木育広場つながる～む」地域子育て支援センターが設置され、子育て相談や子育てサークル活動などのほか、一時預りも行っている。</p>
育の充	<p>10.幼稚園運営事業</p> <p>くにも幼稚園運営</p> <p>○定員 200人 (1月22日現在)</p> <p>3歳児 44人 4歳児 54人 5歳児 39人 計 137人</p> <p>○年長2クラス 年中2クラス 年少3クラス 計7クラス</p> <p>○開設 月～金曜日 (祝祭日を除く。長期休業あり。)</p> <p>○開設時間 午前8時10分～午後1時30分</p>	<p>3歳児から幼児教育の充実を図っている。</p> <p>担任の育休代替え、副担任、支援員を配置し、きめ細かな指導と教育を行なうことができている。一方で、支援を必要とする園児が増えているため、複数名の発達支援員配置の必要性がますます高まっている。</p> <p>また、養護教諭を配置し、園児の体調不良時等の対応を充実することができた。</p> <p>園児の活動では、読み聞かせ(家読)、英語活動、食育教室、レク活動等、地域の人材を活用した取り組み(学校支援ボランティア)を積極に取り入れ、園児と地域の人々のつながりを深めることができた。</p>
実	<p>11.預かり保育事業</p> <p>幼稚園降園後、保護者が不在の家庭の園児に対して預かり保育(一時預かり保育)を実施し、子育て支援の充実を図る。</p> <p>○利用者(1月22日現在)</p> <p>3歳児 32人 4歳児 39人 5歳児 28人 合計 99人</p> <p>○開設 平日 7:00～8:10 降園後～19:30 土曜日 7:00～18:30 長期休業 7:00～19:30</p> <p>○年間290日開設 (土曜、長期休業も含む)</p> <p>○嘱託員8名を配置 保育士、幼稚園教諭の有資格者</p>	<p>くにも幼稚園に隣接し、開設時間を7時～19時30分までとし、保護者のニーズに対応している。</p> <p>幼稚園入園者137人中、預かり保育利用者が99人と72%の利用率となっており、年々利用率が上昇している。</p> <p>利用人数の増加に伴い、施設の改修等が必要となっており、今年度は遊戯室に手洗い場を新設した。</p> <p>預かり保育員が1名欠員となっており、園児の安全のためにも、早急な補充が望まれる。</p>

平成29年度 事業点検 評価表

(生涯学習課)

青少年教育事業

事業名	実施状況	総合点検評価
1 少年仲間づくり教室	<p>学年の違う仲間が、様々な体験活動を通して、心身を養い広い視野を身につける。スポーツやレクリエーション、創作活動など実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>5月から2月の土曜日を中心に年間10回</li> <li>小学4～6年生 教室生40人</li> <li>年会費500円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャンプや稲刈り、理科実験、書初めなどさまざまな体験学習を中心とした活動を行い、より豊かで有意義な時間を過ごし、健全育成を図ることができた。</li> <li>特に、桜の聖母短大の学生と一緒に、道の駅について学習し、自分たちの意見をまとめ発表し、模擬選挙などを実施したり、学生との交流や国見学(地域学)の学習ができた。</li> </ul>
2 地域学校協働本部事業	<p>コミュニティスクールの理念のもと、社会教育の立場から、学校を核として、地域の大人と子どもが学び合い、一緒に協働しながら、地域コミュニティの活性化を図り、「地域とともにある学校」づくりを推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>推進委員会、評価検証委員会の設置</li> <li>地域コーディネーター、地域連携担当教員の配置</li> <li>地域学校協働活動事業、放課後子ども教室事業、学校支援活動事業を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県から「地域学校協働活動事業」の委託を受けて本部事業がスタート。</li> <li>国見小学校に地域連携担当教員が1名配置となり、学校側の事業の窓口となっている。</li> <li>小学校には配置となっているものの、保幼中学校では教頭等が窓口となり、業務連携が難しい。</li> <li>学校と地域の相互連携については、地域が入ることで多忙解消をもちめざしているが、学校の負担となる部分も多く、先生方には歓迎されないこともある。</li> </ul>
3 地域学校協働本部事業 地域学校協働活動事業	<p>これまでの学校支援の取組を発展させ、地域社会と学校が「連携・協働」する取組を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習コーディネーターの配置【質問のできる自習室を開設】</li> <li>①放課後スタディールーム(小4～6年生希望者、火曜と木曜の放課後)</li> <li>②観月台フリー学習室(中学生対象、平日18:00～21:00)</li> <li>③土曜学習室(小5～高校生対象、土曜13:00～17:00)</li> <li>④夏休み・冬休み・春休み学習会(小6対象、長期休業期間3日～5日)</li> <li>⑤英検・受験対策講座(英検対策3回×3日、受験対策5日)</li> <li>⑥特別講座(小学校特別授業2回)</li> <li>【地域・ボランティア活動】「くにもっ子まつり」幼少中連携事業 町婦人会等との交流、国見音頭の練習・発表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>12/7文部科学大臣表彰</li> <li>自主学習の定着と学力向上をめざし、自由に学習できる環境を整備した。</li> <li>①は希望者が多く、教室と指導者の都合で定員があり、すべての希望者を受け入れることができていない。</li> <li>しかし、児童は宿題をやるのが目的であり、その先の自主学習まで至っていない。</li> <li>②は夜の開設であり、中学生の生活指導について、中学校と連携して取り組んでいる。</li> <li>②③は利用者の固定化がみられ、開設について広く周知に取り組みたい。</li> <li>これまで学校支援のように、地域が学校へ支援していく形はできつつあるが、学校が地域へ何ができるか、が課題であり、学校と地域の「連携・協働」という相互連携の形をめざしていかなければならない。</li> </ul>
4 地域学校協働本部事業 放課後子ども教室事業 国見っ子わんぱく広場	<p>指導員に見守られながらスポーツや創作活動などの様々な体験と地域住民との交流活動を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>放課後支援コーディネーターの配置</li> <li>活動場所は主に国見小学校体育館</li> <li>5月～2月の土曜日を中心に年間11回</li> <li>小学1～3年生 64人登録</li> <li>年会費500円</li> <li>指導員19人登録</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コーディネーターを中心に、安全管理員、活動指導員の創意工夫でレクリエーションや調理実習、創作活動など、充実した活動が実施された。</li> <li>女性教室や町寿クラブのみなさんと世代間交流を行い、国見音頭、レク遊び、もちつきなどを行った。地域のみなさんと児童双方にとっての楽しい時間を過ごすことができた。</li> </ul>
5 地域学校協働本部事業 学校支援活動事業	<p>保幼小中学校の要望に応じて、地域住民がボランティアとして学校活動を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校支援コーディネーターの配置</li> <li>ボランティア登録205人</li> <li>延べ52回、延べ229人(1月末現在)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>桃やあんぼ柿作り、民話やお祭りなどの総合学習は、地域ボランティアの協力により、学校外で体験的な活動や学びを行うことができた。</li> <li>また、地域を知り、ふるさとを学ぶ機会となった。</li> <li>子どもたちの地域の方々とのふれあいや交流が、子どもたちの健やかな育成と地域の方々の生きがいづくりに役立っている。</li> <li>ボランティアの方は全くの無報酬であり、謝礼や必要経費を事業で賄えるよう要請している。</li> </ul>

	事業名	実施状況	総合点検評価
6	子どもがふみだす ふくしま復興体験応援事業 国見ジュニア応援団	小学6年生、中学1年生から募集し、町の歴史や産業などの国見学の学習、風評被害などを学習し、県外での情報発信と風評被害対策のためPR活動を実施。平泉町、池田町児童との交流活動を実施した。 ・6月～2月まで計13回、18日間 ・団員10人 ・PR先 平泉町、二セコ町、東京 ・交流受入 平泉町、池田町	・国見町の桃、阿津賀志山防壁、オープンした道の駅について学習し、国見町のPRパンフレット等を作成。 ・産業振興課、まちづくり交流課と連携して、県外での産品PRにも同行し、積極的に販売PR活動を行った。 ・来町した平泉町と池田町児童とは、桃狩り体験、震災防災学習などを一緒にいき、また、国見町や道の駅のPRも行い、有意義な交流事業となった。 ・町青少年健全育成町民大会で、これまでの活動内容・成果を発表し、活動のまとめとした。 ・1年間学習した団員たちは今後、少年リーダーとして、町のPR事業に参加させたい。
7	こどもまつり	レクリエーションゲーム、人形劇、読み聞かせ、創作、お菓子づくりなどを通して友達とふれあいを深める。 ・12/9(土) 9:30～12:30 ・観月台文化センター ホール、和室、栄養指導室など ・園児年長～小学生62人参加 ・協力スタッフ 35人配置(7団体)	・前日から女性教室ボランティアの皆さんと講師でお土産(菓子)作りを行い、当日の準備をした。 ・地域サークルのみなさんに、各コーナーをお任せし、子どもたちと作り物をしたり、遊んだりして楽しい時間を共有できた。 ・幼稚園児からお年寄りまで幅広い年齢層と一緒に活動、交流ができるよい機会となった。

### 成人教育事業

	事業名	実施状況	総合点検評価
1	くにも女性教室	心豊かで健康に生きるため教養や趣味を身につけ健康づくりに努め、女性の立場から地域づくりに役立つことを目指している。 一般教養、趣味、スポーツ、見学学習 ・5月から2月まで主に水曜日の午前 ・全体学習17回 ・趣味のグループ学習【編み物】 ・20歳代からの女性43人 ・年会費500円	・アンケートなどをもとに運営委員会(教室生の代表)で学習内容を計画して幅広い内容で実施した。 ・講師の都合で教室が1回できなかつたり、急ぎよ講師変更をして開催することになったりするトラブルがあった。無理のない事業計画をすすめたい。 ・高齢者学級に比べ、参加人数が微増しており、ニーズを把握し、教室構成を考えたい。
2	成人学級	・郷土の歴史や文化を学び、心身ともに健やかに生きる学習を目指している。一般教養、春の見学学習、健康づくり、文学散歩、健康料理教室など ・4月から2月まで主に金曜日の午後 ・全体学習12回 ・成人(20～60歳代の男女)35人 男5人、女30人 ・年会費1,000円	・全体学習は講演、実技、鑑賞とバランスもよく意義のある活動ができた。 ・学級申込みは増えているが、各回の参加は少なく担当者が苦勞していた。女性教室同様学級構成の検討が必要。 ・男女の比率が極端で、より多くの男性にも参加しやすい内容を進めたい。
3	阿津賀志学級	交通安全、健康づくり、奉仕作業、秋の研修旅行、春祝敬老会など健康、交通安全を重点的に学習する。 ・5月から2月まで全体学習11回 ・グループ学習 カラオケ、詩吟、拳、花いっぱいなど ・高齢者(概ね65歳以上の男女) 93人(男16人、女77人) ・年会費1,000円	・毎回「阿津賀志学級」たよりを発行して、学習を振り返る機会と今の話題を提供したり、また、次回学習のお知らせを掲載して学級生の参加を促している。 ・グループ学習のスタート時はある程度の人数があるが、実際には数名での学習となっているグループ学習があるため、見直しが必要である。 ・女性教室、成人学級、阿津賀志学級での教室・学級のあり方を検討したい。

### 家庭教育事業

	事業名	実施状況	総合点検評価
1	家庭教育講座	国見小学校における就学時健診にて保護者を対象に開催 ・10/6(金) 国見小就学時健診 ・受講者39人 ※小学校入学予定保護者 ・講話「家庭の役割 家族のかかわり」 ・講師 菅野千恵子先生	・健診の待ち時間を利用して開催。 ・「家庭の役割 家族のかかわり」をテーマに、『会話が子どもを育てる』ことについてお話いただいた。 ・講話の途中で折り紙とホチキスで作れる「紙飛行機」を作り、リラックスタイムを設け、気分転換を図られた。 ・小学校と連絡をとりながら開催、運営することができた。

	事業名	実施状況	総合点検評価
2	子育て応援講座	小学生の親子を対象に実施。 ○夏休み 7/22(土) 親子12組(26人) ・親子工作教室「貯金箱を作ろう」 ・講師 石岡栄子氏 ・参加費 150円(材料費) ○冬休み 12/26(火) 親子6組(17人) ・親子クッキング教室 ・講師 町管理栄養士、食生活改善推進員 ・参加費 無料 ※食生活改善推進協議会との共催	・小学校の夏休みの宿題対策にもなったため、参加者はすぐに集まった。 ・製作活動の中で、講師よりの褒め言葉、励ましの言葉が参加した子どもたちのがんばりにつながった。 ・食生活改善推進員の方が各班ごとに指導してスムーズにできた。野菜の切り方や混ぜ方など丁寧に教えていただき、子ども達は具体的に学べる場となった。

### 図書活動

	事業名	実施状況	総合点検評価
1	図書室管理運営	・図書選定委員会を開催し購入図書の検討、専門指導員の調査やリクエストにより購入 ・図書室だより 年4回発行(全戸配布) ・窓口業務 平日は図書専門員、土、日、祝日は図書ボランティアの配置 ・蔵書数 50,196冊(うち児童書23,627冊) ・貸出冊数 14,364冊(1/22現在) ・利用者数 5,047人(1/22現在)	・蔵書の充実、利用促進に努めている。 ・未返却者には毎月督促状をだし、適正な管理に努めている。 ・図書専門員が新しく変わり、専門的知識と経験がないため、利用者からの多様な(無理な)希望要望に対し困難な場合がある。 ・図書室が無人になる時間帯があり、蔵書管理に不安な面がある。
2	子ども移動図書館	○移動図書館 ・国見小学校に向き屋休みの時間に小学1~3年生に図書の貸出、返却。 ・創作や紙芝居等の「お楽しみ」を学期ごとに実施。 ※貸出とは別日程で実施。全員参加 ・5月から3月 年間33回実施	・創作活動等の「お楽しみ」を実施し、児童は楽しみに参加していた。 ・昨年、学校から、創作活動のための屋休み時間利用は辞めたいとの提案があり、回数を減らして実施した。 ・学校図書の充実もあり、上学年のクラス文庫も不要ではないかとの提案があり今年度は実施していない。 ・長く指導員として協力いただいたスタッフが続けて引退され、本好きな新しいスタッフを探している。
3	ブックスタート	母親と赤ちゃんが絵本を介してふれあい、言葉と心を通わす「はじめての絵本推進活動(ブックスタート)」の普及 ・保健福祉課の3か月健診の待ち時間を活用して保護者対象に実施 ・指導員がメッセージを伝え絵本を手渡す ・参加者25人(対象26人)1月末現在	・出生率の低下に伴い、対象乳児は月平均2、3人になってきている。 ・絵本、ブックと併せて図書室の案内や利用者カード申込書を配付して、図書室を啓発することで、後日、図書室を利用する親子がみられる。
4	子ども司書講座	本に親しみ、豊かな心を養い、司書のノウハウを学習し、読書のすばらしさを伝える図書リーダー養成を図る。 ・6/3、7/28、8/9、8/21、10/8、11/18、1/13、2/3、2/17 (全9回土曜日) ※欠席者補講あり ・参加者 16人(4~6年生) ・講師 県立図書館司書、瓶子美千子氏、佐藤千里氏、図書専門員など  ○子ども司書による図書室管理 5/7(日)※子ども司書デー ・参加者 8人	・県立図書館や福島市立図書館など関係機関の協力を得て広がりのある事業を実施できた。 ・すべての講座を修了した者に認定をする、という趣旨であるが、欠席したり途中で辞める児童があり、講座として持ち方を検討したい。 ・子ども読書週間(4月23日~5月12日)に合わせ、昨年までに教室を終了した子ども司書認定者に、「子ども司書デー」として一日図書室の運営(貸出返却業務、幼児への読み聞かせなど)をしてもらった。しかし、周知不足もあり、あまり来館者が少なく、残念だった。 ・子ども司書の活用が課題である。
5	町民教室 選書会 ~親子で本を選ぼう~	親子で選書し、よい本と出会うことで読書意欲を高め、家読の推進を図る ・11/18(土)・6組24人 ・対象 小学生全学年、子ども司書講座生 ・お話し会講師 ：瓶子美千子氏、子ども司書 ・選書会協力：岩瀬書店	・選書する本約500冊用意し、自由に好きな本を選び出す。後日予算の範囲内で図書室の蔵書として購入する。 ・下学年に対しては子ども司書によるおはなし会、上学年は瓶子先生よりおはなし会を実施。 ・子ども司書講座との合同開催だが、その他の参加者が少なく内容について検討要。 ・選書する本が固定化しており、選書する本の選書についても課題である。

	事業名	実施状況	総合点検評価
6	共催事業 おはなし会	毎月第2土曜日定例の読み聞かせサークルみみずくのお話会(すばなし、手遊び、折紙)を共催で実施 ・4月～1月(親子67人) ・2/10(土)、3/10(土) 予定	・昨年からももたん広場で実施し、開催も定着してきて、時間に合わせて来てくれる方もいた。 ・ももたん広場からも積極的にご協力いただいております、これからも継続して実施していきたい。 ・そのほか、幼稚園の預かり保育などでも開催。

### 町民講座教室

	事業名	実施状況	総合点検評価
1	町民講座・県民カレッジ連携講座 伊勢物語	古典文学の名作から当時の雅を読み解く。 ・7/29、8/12、9/17(全3回土曜日) ・受講生 一般58人(のべ125人) ・講師 井実充史氏 (福島大学人間発達学類教授)	・古典鑑賞会の協力を得て開催 ・県民カレッジ連携講座にし、町内外から多くの参加申し込みをいただいた。 ・講師より分かりやすい資料と解説をいただいた。 ・毎年好評の文学講座で、継続実施が望まれる。
2	伝統文化親子教室事業 子ども和楽器体験教室	小中学生を対象に和楽器の琴と三味線の演奏を体験することで日本文化を身近に感じる。 ・古典鑑賞会と連携して実施 ・文化庁の伝統文化親子教室事業を活用 ・9/9～1/27(全13回土曜日) ・受講生16人(中学8人、小学8人) ・指導者 古典鑑賞会(高橋幸子会長)	・今年11年目の継続事業であり、教室生だった子ども達がボランティアで指導を手伝っている。 ・教室生は、1月27日に開催される「若い芽のコンサート」に出演するため練習を重ねた。 ・少ない練習の中で、まったく初めての児童が発表会には立派に発表してくれた。
3	文化団体連携講座 子ども太々神楽教室	内谷春日神社太々神楽保存会と連携し、伝統芸能を学び、郷土学習を深めるとともに、若年層の養成をも図る。 ・9/2～10/21(全7回土曜日) ・受講生2人(小学1～4年) ・指導者 内谷春日神社太々神楽保存会	・3年目を迎え、新しい教室生の数は少なかったが、ベテラン教室生が指導する側となり、また新たな演目挑戦しており賑やかだった。 ・毎週土曜日の開催で、他の教室やイベント、学校行事等が午前にあたりする中、継続して参加しており、熱心さに感心した。 ・町産業祭、文化祭に発表する機会をもち、目標に向かって練習することに楽しみ、やりがいをもっているようだった。
4	文化団体連携講座 陶芸教室	陶芸サークルとの連携講座。土のぬくもりを感じ、陶器作りで心に潤いのある生活を目指す。 ・1/18、2/1、2/15、3/1(全4回) 予定 ・受講生 一般10人 ・参加費 1,800円 ・講師 国見町陶芸サークル	・陶芸窯が新しくなり、公民館教室として実施。 ・形を形成する以外にも、乾燥や焼く作業など手間がかかり、教室外の日程でサークルの方に協力をいただき、完成となる予定。
5	町民講座 一芸講座	趣味を広げ、ジャグリング、バルーンアートの習得。 ・12/1、12/7、12/15(全3回) ・受講生 一般10人 ・参加費 無料 ・講師 福島大学ジャグリングサークル JUGLUBE(じゃぐるべ)	・講師の好意で道具をお借りし、家でも練習ができ、最終回にはできるようになった。 ・ジャグリングの種類はまだあり、今後も続けたいという意欲的な意見もあり、サークル化につなげたい。 ・講師は福大生で、参加者は年配の方も多く、世代間交流の一助ともなった。
6	町民講座 iPhone講座	iPhoneの使い方を初級者向けに講習。日頃困っていることなどを解決する。 ・1/19(金) ・受講生 一般15人 ・講師 ドコモショップ ・参加費 無料	・iPhoneだけでなく、その他のスマートフォンをお持ちの方でも受講いただき、指導いただいた。 ・昨年に引き続きの開催であり、講師も3人に加え、参加者の質問にも丁寧に対応できた。 ・年配の方にはまだニーズがあり、次回開催も希望があった。
7	町民講座 男の料理教室	食生活改善推進協議会との共催。男性が家事に関わり男女区別なく家事ができる。 ・2/19(月) 予定 ・受講生 申込受付中 ・講師 町食生活改善推進員 町管理栄養士 ・参加費 無料	・男性の家事参加へのきっかけ作りとして開催。 ・「あつかし料理クラブ」(男性の料理サークル)へつなげたい。

	事業名	実施状況	総合点検評価
8	町民講座 初心者のための日本酒講座	日本酒について正しい知識を学び、お酒との正しい付き合い方を学ぶ。 ・2/23(金)予定 ・受講生 定員30人※申込受付中 ・講師 佐藤隆氏(人気酒造) ・参加費 無料	・日本酒「あつかしさん」を製造している人気酒造に講師をお願いし開催。 ・利用の少ない中高年男性による公民館利用のきっかけになることも目指している。
9	町民応援講座 手相入門講座	手相を学び、自分の長所を知り、毎日を楽しく過ごすきっかけづくりにする。 ・12/21、1/11、1/29(全3回) ・受講生 一般20人(のべ54人) ・講師 稲辺美代子氏 (東明総研 選任講師) ・参加費 2,250円	・古いや運勢などに興味のある方が多く、参加希望者が多かった。 ・新たな公民館利用者の拡大に向けて、多様な講座開設を進めたい。

その他の社会教育事業

	事業名	実施状況	総合点検評価
1	国見町青少年育成町民会議	青少年の健全育成を図るための町民運動の推進 ・総会、研修会 6/1(木) ・青少年健全育成推進町民大会 12/16(土) 町民会議表彰 ※受賞 2団体、2個人 家庭の日作品表彰 作文発表 発表・子ども太々神楽教室 ・国見ジュニア応援団の活動 ・「家庭の日」推進 ・児童生徒の作文、絵画等の募集 ・文化スポーツ大会等への参加奨励金交付 県、東北、全国大会出場者に交付 ※申請53件(全国9、東北14、県30) (1/22現在) ・JFA(日本サッカー協会)こころのプロ ジェクト事業「夢先生」を小5を対象に実施。 9/21(水)	・総会後の研修会では、「つながりを求めて 子ども達と共に生きるために」スクールソーシャルワーカー中野裕也氏より講話をいただいた。 ・「家庭の日」の推進では、児童生徒の作文・絵画作品121点の応募があり、33人が入賞、そのうち県民会議コンクールに9人が入賞している。 ・子どもの減少、小学校の統合などにより、各地区推進協議会はあまり機能しておらず、再構築が課題である。 ・「夢先生」は夢を叶えた有名人から成功するまで道のりについて話を聞くことができ、子ども達に夢を持つ大切さを伝えることができた。今年はハンドボール選手の東俊介さんを講師に実施した。
2	平成30年 国見町成人式	・1/7(日) 13:30開式 ・式典、記念パーティー ・新成人対象者95人 出席者77人(81.0%) ・親月台文化センター 式典、写真撮影：ホール 記念パーティー：大研修室	・昨年に引き続き、式典はホールで、パーティーは大研修室での実施。 ・式典に先立ち、小坂小学校、森江野小学校がタイムカプセルの開封を行った。 ・式典は全席指定にし、私語も少なく、呼名時の起立等もスムーズに行うことができた。君が代斉唱では国見フラウエンに入っていたいただき、ホールに大きな歌声が響いた。 ・パーティーでは新成人(男性1人)が歌で盛り上げてくれた。 ・記念パーティー終了後は、県北中学校3-2のタイムカプセル開封
3	第26回町長杯 新春囲碁将棋大会	・2/4(日)9:00開会 ・将棋同好会、囲碁同好会を主管に実施。囲碁将棋ともにAクラスBクラスに分けて実施した。 ・参加申込受付中 ・参加費 一般1,000円、小学生500円	・愛好者の高齢化が課題であり、同好会の存続も厳しい状況となりつつある。子どもたちの教室なども検討したい。
4	子どもの読書活動推進 フォーラム	子どもの読書活動を推進し、有識者によるフォーラムを開催。 【主催】福島うちどくネットワーク 【後援】町、町教育委員会など ・8/6(日)9:30~16:00 ・親月台文化センター ホール ・基調講演「子ども読書推進の現状について」 講師：アンドリュウ デュアー氏(東海学院 大学教授兼図書館長兼附属東海第一幼稚園長) ・事例紹介と話し合い ・アトラクション 朗読「ひさの星」ほか ・パネルディスカッション・全体協議 テーマ「子ども読書活動推進のために」 ・特別講演「本の楽しみ、心の発達」～読書は豊かな人生の礎～ 講師：柳田邦男氏(ノンフィクション作家) ・来場者 約300人	・子ども読書基金(国立青少年教育振興機構)の助成を受けて実施。 ・町内外から多くの読書関係者が来場。 ・町内外各団体からの読書活動の取り組みを聞き、情報交換を行い、特色ある多様な取り組みを知る機会となった。 ・現代のメディア社会の中で、読書の大事さ、必要性を考え、子育てに役立つ大会となった。 ・職員の間わりも大きく、これからのフォーラムとの連携に検討が必要。 ・趣旨理解者を広め、フォーラム会員の拡大が課題。

	事業名	実施状況	総合点検評価
5	第3回「ショートショート」創作大会	<p>学校・家庭・地域が連携し読書活動の推進を図るとともに、子どもたちの学習成果の発表機会を与える。</p> <p>【主催】「ショートショート」創作大会実行委員会</p> <p>【後援】町教育委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2/4（日）13:00～16:00（予定）</li> <li>・観月台文化センター ホール</li> <li>・国見小、掛田小、伊達東小、二本松北小、大石小学校6年生10組による創作文の発表と表彰</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども夢基金（国立青少年教育振興機構）の助成を開けて実施。</li> <li>・東北地域の小学校に広く参加を呼びかけ、国見小、掛田小、伊達東小、二本松北小、大石小、小国小学校より作品の応募をいただいた。（102作品）</li> <li>・実行委員会で一次審査をし10作品が入選、5作品が佳作、入選者が当日発表を行う。</li> <li>・審査委員により「大賞」「準賞」を決定する。</li> <li>・毎年少しずつ、参加校が増えている。</li> <li>・実行委員会は、「桜のうた」に続けと意欲的に取り組んでいる。</li> <li>・町が実行委員の一員となっており、連携や支援、関わりについて円滑な対応が必要。</li> </ul>
6	広報活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報くにも『生涯学習つうしん』毎月発行 全世帯配布</li> <li>・観月台文化センターホームページ 随時更新</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事のおしらせ、教室生の募集、公民館事業の紹介をしている。</li> </ul>

平成29年度 事業点検 評価表

(生涯学習課)

芸術文化事業

事業名	実施状況	総合点検評価
1 日本「再」発見 能楽講座 能楽のスズメin国見	<p>伝統芸能の能楽について、初めての方にも分かりやすい解説付きの講座を鑑賞することにより、能楽の豊かで美しい表現を通じ、能の魅力を実感させるために開催。</p> <p>【日時】平成29年4月8日(土)14:00～ 【出演】観世流 小島英明ほか 【入場料】前売2,500円 当日3,000円 【入場者】285名(券売294枚) 【場所】観月台文化センター・ホール</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公演は、能「羽衣」のストーリーや能楽囃子(笛・小鼓・大鼓・太鼓)の解説、能装束の着付け実演を行ってからの鑑賞、また、前週には事前セミナーも開催しており、初めて鑑賞する方に解り易い内容の公演であった。</li> <li>今後も伝統芸能に触れる機会の提供を検討したい。</li> <li>能舞台備品には白石市の碧水園にご協力いただいた。</li> </ul>
2 大山加奈講演会	<p>バレーボール日本代表として活躍。アテネ五輪に出場された大山加奈氏。自己の経験などを踏まえて、夢を持ち続けることの大切さを伝える。</p> <p>【日時】平成29年4月22日(土)14:00～ 【出演】大山加奈、大山未希 【入場料】無料 【入場者】253名 【場所】観月台文化センター・ホール</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大山氏自身の経験に基づいた講演内容であったため、会場にいた子供たちは真剣に聞き入っていた。</li> <li>聖光学院の女子バレーボール部より30名の参加があった。その他、近隣市町のバレーボール部等へも紹介したが、諸行事で参加が厳しかった。</li> <li>東京2020大会を見据え、オリンピック等の話を直接聞く機会の提供を検討したい。</li> </ul>
3 公益財団法人福島県文化振興財団事業 平成29年度 キッズシアター オペラシアターこんにゃく座 「森は生きている」	<p>本格的な舞台設備による演劇の体験と情感豊かな児童育成の一助とする。国見小全児童を対象に実施</p> <p>【日時】平成29年6月7日(水)9:30～ 【出演】オペラシアターこんにゃく座(川崎市) 【入場料】無料 【入場者】420名(国見小全児童) 【場所】観月台文化センター・大研修室</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オペラ鑑賞が初めての子どもたちがほとんどと思われるが、表情から喜怒哀楽が読み取れ、集中して鑑賞が出来た。</li> <li>開催には児童全員が国見小学校から徒歩にて文化センターまで移動しなければならないため、国見小学校の協力が不可欠である。</li> <li>小学生から舞台芸術に触れる貴重な機会であり、情操教育の観点からも継続して開催したい。</li> </ul>
4 キッズフェスティバル クラシックファミリーコンサート 「音楽のおくりもの」	<p>0歳から親子三代、家族と一緒にプロの生演奏を鑑賞することにより、音楽の楽しさを伝える。</p> <p>【日時】平成29年7月2日(日)11:00～、14:00～ 【出演】一村誠也、氏家千佳、児玉千佳、一村誠子 【入場料】無料 【入場者】午前400名、午後150名 【場所】観月台文化センターホール</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼児教育課の事業(キッズフェスティバル)に併せて開催。</li> <li>午前の部の問い合わせは予想以上に多かった。</li> <li>午前中は国見小学校の日曜観覧があったため、町内来館者は少なかった。</li> <li>午後の部の入りは午前の部に比して少なかった。</li> <li>0歳児からのコンサートは子育て世代への芸術鑑賞機会の確保として、今後も継続実施を検討したい。</li> </ul>
5 平成29年度 福島子どもの読書活動推進 フォーラム 特別講演	<p>福島子どもの読書活動推進フォーラムにおいて、ノンフィクション作家の柳田邦男氏を招聘し、「本の楽しみ、心の発達」～読書は豊かな人生の礎～と題して講演会を開催。</p> <p>【日時】平成29年8月6日(日)9:30～16:00 【出演】柳田邦男 【入場料】無料 【入場者】300名 【場所】観月台文化センター・ホール</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>福島うちどくネットワーク主催。子どもの読書活動を推進し、有識者によるフォーラムを開催。</li> <li>読書の大切さについて再認識させる講演内容であった。</li> </ul>
6 中畑清講演会in国見	<p>現役時代は読売巨人軍の中心打者として活躍。04年オリンピック野球日本代表ヘッドコーチ・監督代行、昨年までは横浜DeNAベイスターズ初代監督。「スポーツには世界と未来を変える力がある」と題して講演会を開催。 ※東京2020応援プログラム</p> <p>【日時】平成29年9月20日(水)18:30～ 【出演】中畑清 【入場料】無料 【入場者】420名 【場所】観月台文化センター・ホール</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中畑氏自身のこれまでの経験を中心に「スポーツには世界と未来を変える力がある」ことを伝えてもらい、特に地元中学生野球部の生徒や、ソフトボールスポーツ少年団の児童を舞台に上げ、熱く伝えてもらった。</li> <li>開演直前にホールスクリーンにてスペシャル動画「オールジャパンで大会につながる！」や「2020年。東京と東北で会いましょう。」などを流し、参加者全員が東京2020大会の機運醸成につなげることができた。</li> <li>東京2020大会を見据え、オリンピック等の話を直接聞く機会の提供を検討したい。</li> </ul>
7 大槻純子ピアノコンサート	<p>ベーゼンドルファーと歌唱力に定評のある歌手によるアコースティックなコンサート。</p> <p>【日時】平成29年10月7日(土)19:00～ 【出演】大槻純子 【入場料】前売3,500円、当日4,000円 【入場者】441枚(券売450枚) 【場所】観月台文化センター・ホール</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大槻氏の歌唱力は圧巻。今後も歌い手とグランドピアノ・ベーゼンドルファーのみで構成できる異の高いコンサートでの事業を検討したい。</li> <li>チケットを買い求めに来られた履家の方から、履開期での開催に大変喜ばれた。事業開催時期の検討の必要性を再認識した。</li> </ul>
8 平成29年度「宝くじ文化事業」 吉田兄弟コンサート	<p>一般財団法人自治総合センターによる宝くじの社会貢献広報事業。上質な音楽、演劇及び文化に関する講演会等を提供し、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与することを目的としている。</p> <p>【日時】平成29年11月12日(日)18:00～ 【出演】吉田兄弟ほか 【入場料】前売2,000円、当日2,500円 【入場者】458名(券売459枚) 【場所】観月台文化センター・ホール</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>入場券が即日完売。</li> <li>費用については自治総合センターが全額負担。</li> <li>木住野氏の演奏と演奏中アクショントも見ごたえがあった。</li> <li>来年度は採択にならなかったが、引き続き質の高い芸術鑑賞の機会の提供のため要望していく。</li> </ul>
9 木住野佳子ピアノ・ソロ・コンサート	<p>実力、人気ともに日本を代表するピアニストであり、国見町応援大使である木住野佳子氏によるピアノリサイタル。</p> <p>【日時】平成29年12月17日(日)14:00～ 【出演】木住野佳子 【入場料】1,000円 【入場者】209名(券売238枚) 【場所】観月台文化センター・ホール</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>当日は他県からも聞きに来るファンもいたが、福島市音楽堂のバイブオルガン公演などが影響し、チケット販売は伸びなかった。</li> <li>木住野氏の演奏と演奏中のアクションも見ごたえがあった。またクリスマスメドレーや上を向いて歩こうなど分かり易い曲で聴きは見られなかった。</li> <li>同様にピアノ保守点検を入れたことでピアノが良好な状態にあった。</li> </ul>



8	芸術文化振興事業	<p>○各種文化団体等が実施する事業を支援し、会場の利用調整及び事業運営の一部を担う。</p> <p>＜共催事業＞ 第46回国見町文化祭 音楽芸能発表会(H29.10.29) 【来場者】約800名 総合展示会(H29.11.3~4) 【来場者】約1,400名</p> <p>○美術、文芸、舞踊、音楽などのジャンルから53団体、延べ794名が、文化団体連絡協議会に加盟し活動、事務局との連絡調整、運営面でのサポートを行っている。</p> <p>○芸術文化振興の一環として、25年度より全国規模の大会に出場・出展する団体・個人に対する激励金交付のための予算を措置している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共催・後援等による自主的な文化活動、発表の場の提供、文化活動の支援については継続して推進する。</li> <li>・町文化団体と連携を密にし、文化団体育成と組織の拡充を進めたい。</li> <li>・文化芸術事業における激励金交付については、制度創設以来、交付実績がない。</li> </ul>
---	----------	--	---

社会体育事業

事業名	実施状況	観念点検評価
1 (スポーツ教室) 夏休みだよ！短期スイミングスクール	<p>民間屋内プールを利用して水に親しむ機会を提供し、泳力に合わせて集中して専門スタッフから指導を受けることで、特に水泳初心者の方の泳力向上を図るため、8月に4日連続で開催。</p> <p>小学1年生から4年生を対象に、22名の受講申込みがあり、延べ87名が参加。</p> <p>【日時】平成29年8月7日(月)～8月11日(木) 【会場】福島スイミングスクールほばら</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前アンケートの実施により泳力に見合ったグループ分けと、講師の的確な泳ぎ方の指導ができた。保護者からの評価も好評である。</li> <li>・天候に左右されない屋内プールを利用することで水に親しむ機会を提供し、かつ短期間に集中して専門スタッフによる指導を受けることで、特に水泳初心者の泳力向上を図った。</li> </ul>
2 (スポーツ教室) こどもスキー教室	<p>東日本大震災および原発事故により子どもたちが屋外でのびのびと活動できる環境が少なくなっているなか、スキーを体験し、自然とのふれあいを通じて豊かな人間性を育てる。</p> <p>【日時】平成30年2月25日(日) 開催予定 【会場】みやぎ蔵王白石スキー場</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象 町内の小学校3～6年生のスキー初心者</li> <li>・定員 20名</li> <li>・講師 福島不忘スキークラブ2名程度</li> <li>・講師補助 国見町役場スキー部</li> <li>・参加料 児童一人あたり1,500円</li> <li>・申込み 平成30年2月9日(金)まで</li> </ul>
3 (スポーツ教室) オリンピックアスリートによるスポーツ教室	<p>2020東京オリンピックへ向け、アスリートと参加者のふれあいを通じて「オリンピズム」の理解を深めてもらうとともにオリンピックの意義、スポーツの大切さを伝えるための事業。</p> <p>大山加奈(元バレーボール選手)のバレーボール教室</p> <p>【日時】平成29年4月22日 【会場】観月台文化センター体育館</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東北中学校のバレーボール部生徒と国見ダイヤモンズスポーツ少年団の子もたちを対象に開催。大山姉妹による熱のこもった指導は子どもたちにとって貴重な経験となった。</li> <li>・東京2020大会を見据え、オリンピアン等の講演に併せて開催を検討したい。</li> </ul>
4 (スポーツ教室) 町民ハイキング	<p>自然に親しみ、楽しみながら歩くことにより、日ごろの運動不足を解消し、体づくりと健康の増進を図る。</p> <p>【日時】平成29年7月16日(日) 【場所】高山(福島県福島市) 【参加者】一般16名の受講申込</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・案内人との事前下見を行い、参加者の安全を考慮した。</li> <li>・当日は雨天・強風のため山頂からの眺望は望めなかったが、下山後に温泉入浴を盛り込むことにより参加者の満足度を高めることが出来た。</li> <li>・参加者が固定化しているため、新規参加者が気軽に参加できる取組が必要。</li> <li>・近年山の事故が全国で多発している。徹底した安全管理が必要。</li> </ul>
5 (スポーツ教室) 上野台運動公園 プール開放	<p>小中学校夏休み期間に開放。</p> <p>原則気温23℃以上、水温22℃以上 午前1回・午後2回の3回に分け、35日間の開催</p> <p>【日時】平成29年7月18日～8月24日 【利用者】606名</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間業者へ管理業務を委託、監視員には事前に救急救命講習や研修を受講させることにより、利用者の安全確保や適切な施設維持に努めた。(放射線量も毎日計測)</li> <li>・天候不良による混雑濃度の低下や経年劣化による濾過機の稼働不良により開放日数が少なかった。</li> <li>・近年プールにおける事故及びひび割れについて鑑み、施設の管理運営には徹底した安全性が必要である。</li> </ul>
6 (スポーツ教室) スポーツテスト2017	<p>文部科学省による平成29年度体力・運動能力調査実施要項に基づく健康チェック、体力測定を行う。</p> <p>国見町体育協会主催事業と併せて開催。</p> <p>町民が体力・運動能力を測定する機会を提供し、自己の健康管理、運動能力の向上に役立てることを目的とする。</p> <p>【日時】平成29年10月8日(日) 【参加者】一般28名が参加 ※20歳～64歳の部と65歳～79歳の部に分けての実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町体育協会主催のスポーツフェスティバルに併せて開催であったが、30～40代の参加者集めに苦慮した。調査は隔年事業であるため、周知の仕方、日時の設定について工夫が必要である。</li> <li>・運営スタッフとしてスポーツ推進員に協力をいただき、また、事前に研修を行ったために円滑に実施が出来た。</li> </ul>
7 (スポーツ大会主催) 町長杯スポーツ大会	<p>10競技種目(軟式野球・家庭バレーボール・ソフトボール・グラウンドゴルフ・テニス・ソフトテニス・卓球・パウンドテニス・柔道・剣道)のスポーツ大会を開催し、競技力向上と親睦を図った。</p> <p>【日時】平成29年5月21日～6月4日 ※開会式無し、表彰式のみ開催 【参加者】町体育協加盟団体 一般町民等 約530名</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体協各部の協力により円滑な運営が行えた。</li> <li>・種目ごとに自主活動団体が複数存在するが、参加する団体が固定化している。</li> </ul>
8 (スポーツ大会主催) 町内一周 駅伝競走大会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・41回大会、8区間19.0km</li> <li>・たくましい心と身体を培い、活力あるまちづくりに資する。中学生以上を対象。</li> <li>・同日にふくしま駅伝出場選手の結団式を開催し、全体で激励を行った。</li> </ul> <p>【日時】平成29年11月3日(日) 【参加者】12チーム</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催には交通整理や中継所運営など多くの協力員が必要である中、警察署より国道4号線拡幅と道の駅開業のため横断区間での交通整理員の増を要請を受け、安全に対応できた。今後は区間の見直しを含めた検討が必要である。</li> <li>・中継所役員への事前説明会を開催し、集計作業の円滑な運営を図った。</li> <li>・新聞折り込みで大会及び当日の交通規制の周知を図った。</li> <li>・民間企業からの参加があり、大会が盛り上がった。</li> </ul>
9 (スポーツ大会等の共催・後援)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三県交流国見町少年柔道大会</li> <li>・町体育協会主催スポーツフェスティバル</li> <li>・国見町剣道祭</li> <li>・県スポーツ推進委員研究大会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各団体と協力することで円滑に実施され、今後とも積極的に支援協力体制を組みながら推進することが必要。</li> </ul>

#	各種団体運営・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・種目別の部など約30団体で構成される町体育協会の運営を支援。また、町体育協会は伊達地方体育協会に参画しており、町教育委員会としても職員を幹事として輩出。</li> <li>・町スポーツ少年団本部として、各団との連絡調整、助成、指導、少年団指導者養成を担う。単位団相互の交流事業の実施</li> <li>・町スポーツ推進委員会事務局を担う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・頻繁に上部・外部団体との連絡調整があるため、町職員が体協事務の多くを担っている。</li> <li>・スポ推委員の活躍の機会を提供するほか、自発的な活動を支援する必要。</li> </ul>
#	各種スポーツ大会等の運営、選手等の派遣	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県総合体育大会</li> <li>・県民スポーツ大会東北地域大会</li> <li>・伊達地方スポーツ大会</li> <li>・伊達地方一周駅伝競走大会</li> <li>・国見町・桑折町青少年健全育成剣道大会</li> <li>・市町村対抗福島県軟式野球大会</li> <li>・市町村対抗福島県ソフトボール大会</li> <li>・市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会</li> <li>・県・町代表として出場する大会には、選手へ激励金を交付</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各大会とも町体育協会の種目別の部が中心となり、町が支援して円滑に運営。</li> <li>・伊達地方の大会等において、当町選手（剣道、グラウンドゴルフ）が優秀な成績を収める。</li> <li>・市町村対抗福島県野球大会において、1回戦平田村に3-7で惜敗。</li> <li>・市町村対抗福島県ソフトボール大会において、2回戦福島市に1-6で惜敗。</li> <li>・市町村対抗駅伝において、総合34位・町の部15位。</li> </ul>
#	各施設の維持管理、利用調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上野台運動公園をはじめ体育施設の充実及びその効果的運営の促進を図ることにより、町民の心身の健全な発達及び豊かな人間性の涵養への寄与する。</li> <li>・体育施設利用申請にかかる許可、調整、料金徴収等の事務処理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設利用希望が重複するため円滑な調整が必要。</li> <li>・建設より長期間を経過している施設が多いことから、修繕箇所等が頻発している。総合管理計画に基づく個別施設計画を策定し、財源の確保と予防保全的な対応が必要。</li> </ul>

観月台文化センター等管理業務

	事業名	実施状況	総合点検評価
1	観月台文化センター施設の管理運営業務	<p>観月台文化センターは生涯学習の拠点として、月1回の休館日以外は夜間21時30分まで開館。特定建築物として関連法に基づく点検や清掃等の保守管理業務が必要となり、運営の基本を「管理運営委員会」に託している。</p> <p>業務としては、利用の予約受付、申請受理から許可、使用料の徴収及び利用調整事務、故障箇所の修繕等がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度 利用件数 1,982件(H29.12月末現在) (参考：H28.12月末2,186件) 利用者数 34,278人 (参考：H28.12月末37,763人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホールの本格稼働により昨年の利用者数・件数に近い利用となっている。</li> <li>・ホールの利用については、住民にとって利用しやすくする必要がある。</li> <li>・平成6年の竣工より23年を経ており、修繕を要する箇所が増加している。総合管理計画に基づく個別施設計画を策定し、財源の確保と予防保全的な対応が必要。</li> <li>・ホールについては町の財政難から全ての改修は見込めない状況である。今後は必要最低限の照明改修を個別施設計画を策定し実施する。</li> <li>・管理運営委員会について年1回の閉会に留まったが、複数回開催するなど、施設の有効活用の検討及び住民のニーズを吸い上げる場を持つ必要がある。</li> </ul>
2	地区中央集会所管理業務	<p>小坂、森江野、大木戸、西大枝の旧村毎に、地域活動の拠点として中央集会所を設置している。利用申込等の運営は地区管理者に委託。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区の協力により、使用申込の処理等体育館も営め運営されている。</li> <li>・施設の維持修繕については地区管理者との協議により実施している。</li> <li>・建設から25年を超える施設もあり、総合管理計画に基づく個別施設計画を策定し、財源の確保と予防保全的な対応が必要。</li> </ul>